

二宮町第2次環境基本計画
後期実施計画（令和3年度）の進捗状況について

令和4年11月

二 宮 町

目次

I	二宮町第2次環境基本計画について	1
1.	計画期間	1
2.	基本理念	1
II	施策体系	2
III	評価方法について	2
1.	評価方法	2
IV	基本目標別進捗状況及び評価	3
1.	生物多様性の保全	
	多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち	3・4
2.	循環型社会の実現	
	環境にやさしい循環型のまち	4
3.	低炭素社会の形成	
	地球環境の保全に取り組むまち	5
V	令和3年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見	6
	<はじめに>	6
	<令和3年度全体評価>	6
	<基本目標別意見>	6
	1. 生物多様性の保全について	6
	2. 循環型社会の実現について	6
	3. 低炭素社会の形成について	6
資料	二宮町第2次環境基本計画後期実施計画 (令和3年度進捗状況一覧)	

I 二宮町第2次環境基本計画について

1. 計画期間

環境基本計画の計画期間は、平成24年度～平成34年度（令和4年度）とし、本計画に基づく実施計画の期間は次のとおりです。

なお、令和3年度については、後期実施計画の3年目となります。

計画期間区分		対象期間
第2次 環境基本計画	前期実施計画	平成24年度～平成27年度
	中期実施計画	平成28年度～平成30年度
	後期実施計画	令和元年度～令和4年度

2. 基本理念

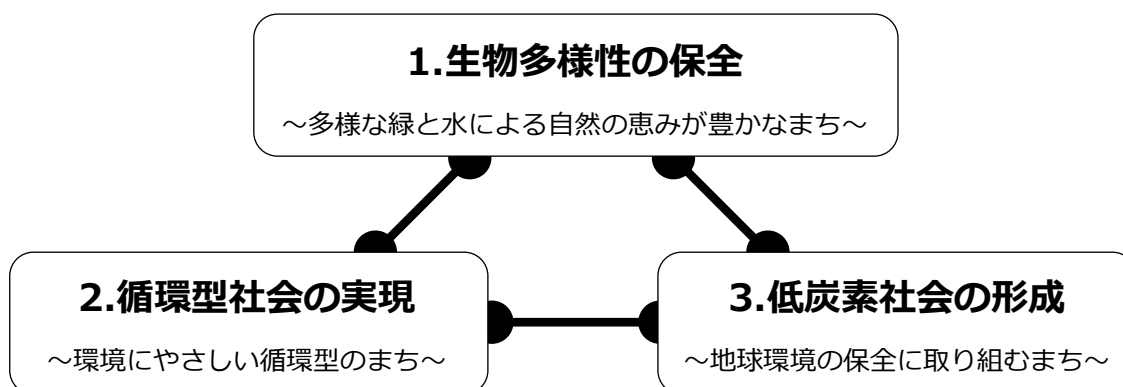
『のこしたい・つたえていきたい・ふるさとを

～里山・里地・里川・里海と暮らすまち（このみや～）』

環境基本計画では、「自然からの恩恵だけでなく、自然災害など自然の力も含め、人と自然が共生する環境のまち（ふるさと）をめざし、二宮町が有する豊かな自然環境を大切に育むことを通じて、まちへの愛着を育む」ことを基本理念としています。

この基本理念を実現するため、3つの骨太の柱となる基本目標を設定し、二宮町の自然・社会環境を生かしながら、将来に残したい環境の保全や創出に向けて、町民・事業者・町が一体となって取り組んでいきます。

基本目標（3つの骨太の柱）



*1～3は、相互に関連しています。

II 施策体系について

二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和元年度～令和4年度）では、環境基本計画で立てた骨太の柱となる3つの目標に、14の基本施策を設定し、それらを実現するため53の事業を設定しました。

基本目標	基本施策	事業数	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による 自然の恵みが豊かなまち	1-1. 吾妻山の保全と魅力の向上	1	21
	1-2. 丘陵地や谷戸などの保全	6	
	1-3. 水と親しめる葛川の再生	6	
	1-4. 二宮海岸の保全と魅力の向上	6	
	1-5. 良好な自然を象徴する動植物の保全	2	
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	2-1. リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	5	17
	2-2. リユースやリサイクルの促進	3	
	2-3. ごみの適正な処理・処分の推進	5	
	2-4. 不法投棄防止の推進	2	
	2-5. 地産地消の促進	2	
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	3-1（2）.省資源・省エネルギー活動の促進 自然エネルギーの活用	6	15
	3-3. 緑化や雨水利用などによる環境の保全	3	
	3-4. 環境保全による安全なまちづくり	3	
	3-5. 快適な生活環境の向上	3	
総事業数		53	

III 評価方法について

1. 評価方法

後期実施計画は、基本目標ごとに重点事業を設け、重点事業の進捗管理を行うことで、基本目標の効果を把握しやすくしました。

また、各事業の評価方法についても一定の基準で評価できるよう、「達成状況評価」と「事業内容評価」の合計を5段階で評価する方法に変更したことにより、それぞれの事業において、一貫した評価を行えるようにしました。

《後期実施計画における評価》

評価指標	
A	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 100%】
B	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 75-99%】
C	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 50-74%】
D	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 25-49%】
E	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 0-24%】

IV 基本目標別進捗状況及び評価

1. 生物多様性の保全 ～多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち～

「生物多様性の保全」については、里山・里地・里川・里海という多様性に富む豊かな自然を大切に保全し育むとともに、自然と人間が生活の様々な場面で共生することを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
1-2-①	里山再生育成事業	—	—
1-3-④	葛川水質調査の実施	B	95%
1-4-④	湘南にのみや海岸 530 キャンペーンの実施	—	—

【里山再生育成事業】

雨天により中止となった田植え体験学習を除き、10月20日に稲刈り体験学習（園児46名参加）、2月9日に原木椎茸植菌教室（町民17名参加）を開催し、希望があった幼稚園等には、苗や米の配布を行いました。

その一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い事業の縮小もあったことから、本事業における評価の数値指標（事業参加者数）に影響がありました。従って、評価を「非該当（—）」とします。

なお、体験学習用地（田んぼ）の維持管理には多大な負担がかかるため、今後は里山づくり推進協議会に新たな団体（構成員）を加えることによる事業負担の軽減を図るとともに、体験学習用地の場所や事業内容の見直しも含め検討していきます。

【葛川水質調査の実施】

家庭や事業所からの排水による河川への影響を把握するため、水質測定を実施し、その測定結果をホームページに公開することで、町民へ周知を行いました。

また、水質改善に重要となる公共下水道の整備状況について、ホームページで公開するとともに、新規供用区域と既区域の未接続家屋に対して接続案内の配布や接続啓発記事を広報紙に掲載しました。

6地点において各4回水質測定を実施したところ、全ての測定地点で環境基準を満たしましたが、引き続き公共下水道への接続勧奨や合併処理浄化槽への設置補助を行うことで、より排水が適正に処理されるよう努めていく必要があることから、本事業の評価は「B」とします。

今後も水質測定を実施し、水質測定結果をホームページで公表するとともに、関係各課と連携し、河川水質の改善効果について啓発を行います。

【湘南にのみや海岸 530（ごみゼロ）キャンペーン】

海岸保全の気運を高めるため、例年、町民やボランティア団体、各地区等の協力を得て、二宮海岸の一斉清掃を行ってきましたが、令和2年度に引き続き、令和3年度においても、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とせざるを得なかったことから、本事業における評価の数値指標（海岸 530 キャンペーン参加者数）に影響がありました。従って、評価を「非該当（－）」とします。

今後は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、キャンペーンの開催を検討することに加え、キャンペーン以外でも、町民、各関係団体と連携や協力をして実施できる取組についても検討していきます。

2. 循環型社会の実現 ～環境にやさしい循環型のまち～

「循環型社会の実現」については、ごみの減量化や資源化等を推進するとともに、町内で生産・流通・消費の循環を実現していくことを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
2-3-①	二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	—	—

【二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進】

循環型社会の実現を図るため、「二宮町一般廃棄物処理基本計画」に基づく各種施策を推進し、ごみの減量化や資源化等に努めています。

「減量化」については、1人1日あたりのごみ総排出量の目標値 805g に対して実績値 821g、「資源化」については、資源化率の目標値 33.6% に対して実績値 34.15%、「最終処分量の削減」については、埋立量の目標値 77t に対して実績値 94t となり、令和2年度と同様に、資源化率のみ目標を達成しました。

また、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、町民の在宅時間が増加したことなどによって、ごみの排出量も増加したと推測されることから、評価を「非該当（－）」とします。

今後も引き続き、ごみ減量化策等について広報媒体を活用して積極的に啓発していきます。

3. 低炭素社会の形成 ～地球環境の保全に取り組むまち～

「低炭素社会の形成」については、地球全体における持続可能な社会を実現するための課題となっている二酸化炭素排出量の削減を目指し、省資源・省エネルギー活動の促進や環境保全の啓発に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価点数については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
3-1 (2) -①	地球温暖化防止運動の推進	—	—

【地球温暖化防止運動の推進】

例年、温室効果ガスの排出抑制を推進するため、環境活動団体と協力して様々なイベントを行っています。その中で、本事業ではふるさとまつりでのマイエコ10宣言※の結果を指標としていますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いふるさとまつりが中止となったことから、評価を「非該当（—）」とします。

しかしながら、代替え事業として、広報紙やホームページ、Facebookでの啓発に加え、未来づくり教室などの環境学習の実施、また、二宮町内の全小中学校に、マイエコ10宣言を実施し、結果をフィードバックして、子どもたちの環境意識の向上を図りました。

今後、ふるさとまつりが開催できた場合においても、引き続き二宮町内の全小中学校へマイエコ10宣言を実施し結果をフィードバックすることや、広報媒体を活用し、地球温暖化防止のための啓発を実施することで、町民の意識向上へのきっかけをつくっていきます。

※「マイエコ10宣言」とは、神奈川県が実施している取組で、持続可能な社会を実現するため、私たち一人ひとりの取組の輪を広げることを目的としており、環境に関わる16項目の中で、何項目実施できているか、または実施できそうかを回答するもの。

《参考》 重点事業の評価

基本目標	重点事業	評価	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による自然の恵みが 豊かなまち	2-1.里山再生育成事業	—	—
	3-4.葛川水質調査の実施	B	95%
	4-4.湘南にのみや海岸 530 キャンペーンの実施	—	—
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	3-1.二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	—	—
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	1 (2) -1.地球温暖化防止運動の推進	—	—
事業数 計	5		

V 令和3年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見

(令和4年11月8日)

<はじめに>

二宮町環境審議会では、「二宮町第2次環境基本計画後期実施計画」の令和3年度における進捗状況について審議し、以下のとおり意見を取りまとめましたので、今後の計画の推進にあたっては、当審議会意見に配慮され、改善に取り組んでください。

<令和3年度全体評価>

新型コロナウイルスの影響により、評価非該当になった事業においては、引き続き代替事業を実施し、計画を推進してください。

<基本目標別意見>

1. 生物多様性の保全について

①【公園等維持管理運営事業（1-1-①）】

いまある自然を、観光目的だけのためにむやみに改変することは、慎重に行うべきだと思います。

防災、里山環境保全などの観点から慎重に検討する必要があると感じます。

②【里山再生育成事業（1-2-①）】

指標を参加者とせず、実践者に変えた方がいいのではないのでしょうか。

また、人材育成の観点を含めた事業として発展させるべきだと思います。

③【土地改良事業（農道整備）（1-2-②）】

なぜ自然工法は草が繁茂するかの理由について深掘りして考える必要があるように感じます。自然は草を生やすことによって、土を流出しないようにさせているのかもしれない。草が繁茂しにくい自然工法もあるので、土中環境を悪化させてしまうコンクリートをなるべく使用しない方法での対策を模索していく必要を感じます。

④【緑の基本計画の推進（1-2-⑤）】

土地所有者とNPOを取り次ぐ役割を町が担っていただき、連携して自然環境の保全を推進する枠組みを作っていただきたいです。

⑤【葛川水質調査の実施（1-3-④）】

民間委託の水質調査に費用がかかっているという認識です。近隣の大学や市民と連携して、安価で住民参加型の持続可能な調査方法を確立すると良いと思います。

⑥【水資源に関する教育（1-3-⑥）】

水源林の見学に事業内容を変更してほしいです。

気候が激甚化している昨今には弊害の方が多いという世論が高まっています。水源林の視察は里山環境保全への啓発にもなり、里山保全のフィールドのある二宮では行動へも移しやすく、効果がより高いと感じます。

⑦【海岸保全対策事業（1-4-①）】

養浜だけでなく、砂浜の環境（植物）の改善も事業計画に入れてほしいです。砂浜の植物は砂を定着させることに資するという科学的見地から実行してほしいと思います。

⑧【松の保全事業（1-4-⑤）】

薬剤注入は最終手段にさせていただき、ラディアンで上映した「杜人」の環境再生医矢野智徳さんの大地再生の考え方や手法で根本的な環境改善を進めてほしいです。

2. 循環型社会の実現について

①【マイバッグ・マイボトル等の利用促進（2-1-②）】

マイボトル普及には、生活導線へのさらなる給水器の設置が必要だと思います。

※例えば JR 東日本と SDGs の枠組みで包括連携協定を結び、二宮駅に給水器を設置したり、賑わい創出で成功しているみらいはらっばに設置するなど。

②【水分もうひとしぼり運動（2-1-③）】

最終的には2-2-③（キエー口普及）につなげていく視点を入れても良いかと思います。

③【ごみ置場散乱防止対策（カラスネット配布）（2-3-②）】

ネットだけでは、やはりカラス被害はゼロにはできないと思います。飛散しない仕組みを早急に予算をかけてでも行うべきだと思います。

2-4-②にも関係しますが、ゴミの発生源は意外とポイ捨てより、こうした外的要因も多いのではないのでしょうか。

④【地元産品の消費促進（2-5-①）】

こちらの事業はイベントだけでなく、日常の中で消費者が選べるような場所があると良いと思います。

※百合が丘のわくわく広場のような場所など。

⑤【地元産品の循環型活用の促進（2-5-②）】

循環の仕組みを作ることができると良いと思います。収穫した野菜を給食（地産地消、有機給食）に提供するなど、今後の展開に期待しています。

大規模な循環だと機械の故障などにより事業の進捗に影響があるかと思っています。

3. 低炭素社会の形成について

①【地球温暖化防止運動の推進、ムダな電力消費等の節約啓発（3-1（2）-①、3-1（2）-②）】

マイエコ10宣言はあくまでも宣言でしかないので、一步踏み込んでパワーシフト（再エネへの電力切り替え）、あるいは断熱や省エネ対策をした世帯数で評価した方が、環境保全に資すると思います。

②【エコカーの導入（電気自動車等導入検討）事業（3-1（2）-③）】

やらないよりやった方がいいと思いますが、費用対効果でいうとCO₂削減の効果は低いと思います。

早目にエコカーにシフトして、基本計画からは除外してもいいのではないのでしょうか。むしろ、シフトしたことを町民にうまくアピールすることの方が大きな波及を生むと思います。

③【建築物の緑化の推進（3-3-①）】

温度上昇を抑制した具体的な効果をデータで知りたいです。

④【花いっぱい運動の推進（3-3-③）】

実際に、いまある自然の保全に資金を回した方が、環境保全に資すると思います。

自然と切り離された場所に花を植えても環境改善への好影響はありません。「緑いっぱい運動」などとし、里山の整備にシフトしていくなど、事業自体を見直してほしいです。

二宮町第 2 次環境基本計画後期実施計画
(令和 3 年度進捗状況一覧)

進捗状況一覧における「評価」欄の見方について

○数値目標における達成状況を評価	●達成状況評価				●評価割合(100)	
○各年度の目標値	●R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況 評価	事業内容 評価
	350,000人	350,000人	350,000人	350,000人	75	25
○目標値に対する実績値	●R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	×	×
	426,860人				事業 達成率	事業内容 達成率
○目標値に対する実績値の達成率	●R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%
	100%				達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)
	事業内容評価				75%	25%
	●R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	●総合評価(A)+(B)	
	100%				100%	A

○事業ごとに事業達成率と事業内容評価の評価割合を次の3パターンで配分
《評価割合》
①75:25
②50:50
③25:75

○事業内容における達成状況を評価するもので、事業内容を次の5項目に分け、達成できた項目数の割合
《事業内容評価項目》
① 基本理念の達成に貢献しているか 20%
② 事業の性質(推進型、促進型等)をとらえているか 20%
③ 事業を成功させるための工夫がなされているか 20%
④ 事業が費用対効果を考慮しているか 20%
⑤ 事業結果を踏まえた改善がなされているか 20%
(合計) 100%

○標記事業の場合...
75(達成状況評価割合)×100%(事業達成率)=75%(達成状況評価(A))
25(事業内容評価割合)×100%(事業内容評価)=25%(事業内容評価(B))

【総合評価(A)+(B)】=【達成状況評価(A):75%】+【事業内容評価(B):25%】=100%⇒【A】

○評価指標

- 【達成率: 100%】 A
- 【達成率: 75-99%】 B
- 【達成率: 50-74%】 C
- 【達成率: 25-49%】 D
- 【達成率: 0-24%】 E

なお、重点事業につきましては、網掛けとしています。

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
1	1-1 吾妻山の保全と魅力の向上	①公園等維持管理運営事業	自然環境の保全と観光拠点としての調和を図るため、施設や設備を充実させるための整備を行うとともに、動植物の生息状況に応じた公園管理を行う。	都市部 都市整備課	・里山保全のため、園内の樹木等の維持管理作業を実施する。	・来園者数は377,566人であった。 ・シルバー人材センターによる園内の樹木等の維持管理を適切に実施した。 ・山頂からの眺望確保のための剪定を実施した。	・来園者数
2	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	①里山再生育成事業	里山の保全育成を図るとともに、災害による被害抑制につなげるため、身近な里山の手入れや間伐材の再利用を通して、ボランティアによる里山体験を促進する。	都市部 産業振興課	・田植え体験学習、稲刈り体験学習、椎茸植菌教室の開催及び関連団体との情報交換等により里山保全の意識を高める。	・雨天により中止となった田植え体験学習を除き、稲刈り体験学習（園児46名参加）を10月20日に、原木椎茸植菌教室（町民17名参加）を2月9日に開催した。また、希望があった幼稚園等に苗や米を配布した。	・事業参加者数
3	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	②土地改良事業（農道整備）	農地の保全と地域農業の活性化を図るため、農道を整備する際にのり面の植生の回復を図るなど、自然環境に配慮した仕様を検討した上で、整備及び維持管理する。	都市部 産業振興課	・近年、増加している大雨対策のための改良及び農道法面の崩落防止の修繕の実施により、里山保全へも配慮した取り組みを行う。	・町内の農道15ヶ所、農道護岸1ヶ所を整備修繕した。	・農道の整備・改良、修繕件数
4	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	③ふれあい農園事業	農地の荒廃化防止のため、町が借りた農地を「特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律」に基づき農業委員会の承認を受けた上で、「二宮町ふれあい農園事業実施要綱」により、町民へ貸出しを行う。（1区画20㎡、作付は野菜と草花）	都市部 産業振興課	・耕作状況を把握し、利用していない場合には速やかに利用希望待機者へ貸し出せるよう管理を行うことで農園の適正な維持管理に努めるとともに、栽培講習会の開催を通じ、周辺環境に配慮した耕作を促す。	・農園の適正な維持管理に努め、全区画を利用者に貸し出した。 ・次年度の利用意向確認をする際に、共有部分の草刈等を促す通知を同封した。	・区画数

評価					課題		対応		R04事業計画								
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・シバザクラ園の維持管理は、公園スタッフ及び町民ボランティアで行っていたが、令和元年度からボランティアによる活動が休止となり、人手が不足している。また、シバザクラも寿命である5年を経過し、シバザクラを良好に育てることが困難となっている。</p>		<p>・シバザクラ園を良好な状態に保つことが難しいため、維持管理を軽減することに加え、長期的に花木などが楽しめるエリアに変えていく必要がある。 ・今後は花木の植替え等のリニューアルを検討していく。</p>		<p>・里山保全のため、園内の樹木等の維持管理作業を実施する。 ・山頂の眺望確保のため、剪定を実施する。</p>						
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況 評価	事業内容 評価	75							25				
350,000人	350,000人	350,000人	350,000人	×	×												
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業 達成率	事業内容 達成率	100%							100%				
426,860人	322,466人	377,566人		100%	100%												
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	75%							25%				
100%	92%	100%		75%	25%												
事業内容評価					総合評価(A)+(B)								100%		A		
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価														
100%	100%	100%															
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・体験学習用地（田んぼ）の維持管理に多大な負担がかかるため、現状の「里山再生ボランティア」を支援する他、維持体制の強化を図る必要がある。</p>		<p>・里山づくり推進協議会に新たな団体（構成員）を加えることによる事業負担の軽減、体験学習用地の場所や事業内容の見直しも含め検討する。</p>		<p>・田植え体験学習、稲刈り体験学習、椎茸植菌教室の開催及び関連団体との情報交換等により里山保全の意識を高める。</p>						
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況 評価	事業内容 評価	50							50				
240人	240人	240人	240人	×	×												
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業 達成率	事業内容 達成率	26%							100%				
110人	0人	63人		26%	100%												
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	13%							50%				
46%	0%	26%		13%	50%												
事業内容評価					総合評価(A)+(B)								コロナの影響あり				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価														
100%	100%	100%				63%									-		
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・自然環境に配慮した工法は、すぐに草が繁茂し、農道の通行に支障をきたす恐れがあり、草が触れることでイノシシなどのための電気柵の電圧が下がる原因にもなることから、施工場所に応じた工法を選択する必要がある。</p>		<p>・大規模な修繕や整備、改良にあたっては、可能な限り自然環境に配慮した工法を選択できるような計画的な管理を行うとともに、損傷が小さいうちに早期発見、対処することで、修繕を小規模化できるよう努める。</p>		<p>・近年、増加している大雨対策のための改良及び農道のり面の崩落防止修繕の実施により、里山保全へも配慮した取組を行う。</p>						
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況 評価	事業内容 評価	50							50				
3件	3件	3件	3件	×	×												
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業 達成率	事業内容 達成率	100%							100%				
7件	7件	16件		100%	100%												
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	50%							50%				
100%	100%	100%		50%	50%												
事業内容評価					総合評価(A)+(B)								100%		A		
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価														
80%	100%	100%															
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・年度末までには更新されるものの、常にキャンセル待ちが発生しているため、農園を適正に管理し、管理が疎かになっている利用者の意向を再確認し、返却があった際には早急に更新をする必要がある。</p>		<p>・遊休、荒廃農地対策の一環として、現行のふれあい農園の適正な維持管理に努める。</p>		<p>・農地の荒廃化防止の一助となるようふれあい農園の適正な維持管理をするとともに、利用者による適正な維持管理についても促進する。</p>						
R01 目標値	R02 目標値	R03 目標値	R04 目標値	達成状況 評価	事業内容 評価	75							25				
106区画	106区画	106区画	106区画	×	×												
R01 実績値	R02 実績値	R03 実績値	R04 実績値	事業 達成率	事業内容 達成率	100%							100%				
104区画	106区画	106区画		100%	100%												
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	75%							25%				
98%	100%	100%		75%	25%												
事業内容評価					総合評価(A)+(B)								100%		A		
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価														
100%	100%	100%															

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
5	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	④遊休・荒廃農地対策事業	農業の担い手不足により増加している遊休・荒廃農地の解消と農地の保全のため、新規就農者や販売を視野に入れた本格的な農業に取り組む「かながわ農業サポーター」など、新たな担い手の受け入れを積極的に行う。	農業委員会事務局	・農地の利用状況調査を実施し、農地の有効利用を図る。 ・遊休・荒廃農地の解消を図るため、農地の利活用を予定している者に対して再生に伴う経費を補助し、農業の再生に取り組んでいく。	・農地利用状況調査結果を基に、遊休地の所有者に対し、農地中間管理機構の活用を促すとともに、要件を緩和した二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金のPRに努めた。（補助金活用件数1件0.06ha）	・遊休・荒廃農地の解消面積
6	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑤緑の基本計画の推進	緑地率を30%、公園等整備面積43haを目標とする「緑の基本計画」を推進するため、指定区域内の山林等所有者への自然保護奨励金の交付（県事業）や「二宮町緑の保全及び緑化の推進に関する要綱」に基づく保存樹木の指定により松等の緑の保全に努める。	都市部都市整備課	・県と連携し、保安林等所有者に自然環境（里山）の保全の推進を図る。 ・保存樹木の指定及び保全に努める。	・自然保護奨励金の対象は、山林等対象件数4件、対象面積87,484㎡で、昨年度と同数となり、里山の保全に繋がった。 ・保存樹木の対象件数は、対象件数17件、対象本数149本（マツ・ケヤキ・サクラ等）であった。	・自然保護奨励金制度の対象面積 ・良好な生活環境の確保及び美観風致を維持するための補助本数
7	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑥二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会の実施	ホタルの生態を知ることを通じ、水辺等の自然環境の保全に対する理解を得るため、二宮せせらぎ公園におけるホタルの観賞会を実施する。	都市部都市整備課	・園内の維持管理作業に農業等を使用せず、ホタルが息できる環境を維持する。 ・ホタル観賞会を実施する。	・令和3年度のホタルの観賞会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。 ・イノシシ被害対策のフェンス工事を実施し、フェンスを設置した。	・ホタル出現数
8	1-3 水と親しめる葛川の再生	①公共下水道整備事業	公共下水道処理区域の一層の拡大を図るため、年次毎に効率的な汚水枝線の整備工事を実施する。	都市部下水道課	・翌年度の供用区域拡大に向け、事業計画区域内の下水道未普及地区で枝線工事を実施する。 ・山西（釜野）地区、中里地区、二宮（北新道）地区で整備を行う。	・山西（釜野）地区、中里地区、富士見が丘地区、二宮（谷戸）地区で枝線工事を実施した。 ・約0.7 kmの汚水管を整備した。	・整備面積

評価					課題		対応		R04事業計画		
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・遊休荒廃農地の多くが谷戸や斜面地に存在しているため、担い手の減少、農業者の高齢化及び鳥獣被害により耕作放棄地が増加する状況においては、農地の確保、有効利用を図ることが必要となっている。</p> <p>・農地中間管理機構の利用意向等が表明された農地情報を取りまとめ、農地中間管理機構と連携して新規参入者や新たな担い手へのあっせんを図るとともに、二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用促進に努める。</p>		<p>・遊休荒廃農地の解消を図るため、農地中間管理機構等を活用し、新規就農者や経営規模拡大の意向がある農業者への更なる利用集積を推進する。</p> <p>・二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用により解消を支援する。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価	50					50
目標値	目標値	目標値	目標値								
0.4ha/年	0.4ha/年	0.4ha/年	0.4ha/年			×					×
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率	15%					100%
実績値	実績値	実績値	実績値								
0.28ha/年	0.00ha/年	0.06ha/年				達成状況評価(A)					事業内容評価(B)
R01	R02	R03	R04	事業内容評価		8%					50%
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率								
70%	0%	15%		総合評価(A)+(B)		58%	C				
R01	R02	R03	R04	事業内容評価							
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価								
100%	100%	100%									
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・保存樹木について、土地利用の変更や樹木の老木化等により減少する事が予想される。</p> <p>・里山や保存樹木の所有者に対し、次世代へ緑の保全の必要性や理解の啓発に努めていく。</p>		<p>・県と連携し、保安林等所有者に自然環境(里山)の保全の推進を図る。</p> <p>・保存樹木の指定及び保全に努める。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価	75					25
目標値	目標値	目標値	目標値								
80,000m ²	80,000m ²	80,000m ²	80,000m ²			×					×
179本	179本	179本	179本								
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率	92%					80%
実績値	実績値	実績値	実績値								
87,484m ²	87,484m ²	87,484m ²				達成状況評価(A)					事業内容評価(B)
155本	155本	149本									
R01	R02	R03	R04	事業内容評価		69%					20%
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率								
93%	92%			総合評価(A)+(B)		89%	B				
R01	R02	R03	R04	事業内容評価							
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価								
80%	80%										
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・今後も現状の維持管理形態を保持していくことが大事だが、ホタルの観賞会が開催できた時の対策も必要である。</p> <p>・現状の維持管理形態を保持しつつ、新しい手法も積極的に取り入れていく。</p>		<p>・園内の維持管理作業に農業等を使用せず、ホタルが息できる環境を維持する。</p> <p>・ホタルの観賞会を実施する。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価	50					50
目標値	目標値	目標値	目標値								
1,500頭	1,500頭	1,500頭	1,500頭			×					×
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率	33%					80%
実績値	実績値	実績値	実績値								
433頭	490頭	495頭				達成状況評価(A)					事業内容評価(B)
R01	R02	R03	R04	事業内容評価		17%					40%
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率								
29%	33%	33%		総合評価(A)+(B)		57%	-				
R01	R02	R03	R04	事業内容評価							
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価								
80%	40%	80%									
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・下水道の整備率は事業計画区域の92.8%となったが、未整備の箇所については、工事実施の制約、施工管理の困難性のほかに、整備に際して沿線住民の申請を伴う私道が多いことが挙げられる。</p> <p>・工事の実施に際しては、地域、請負業者、関係機関との調整を図って施工していく。</p> <p>・私道沿線地域への情報提供方法を検討する。</p>		<p>・事業計画区域内の下水道未普及地区で枝線工事を実施する。</p> <p>・山西(釜野)地区、二宮(谷戸)地区、百合が丘地区で整備を行う。</p>		
R01	R02	R03	R04	達成状況評価	事業内容評価	75					25
目標値	目標値	目標値	目標値								
410ha	418ha	425ha	432ha			×					×
R01	R02	R03	R04	事業達成率	事業内容達成率	98%					100%
実績値	実績値	実績値	実績値								
410ha	414ha	417ha				達成状況評価(A)					事業内容評価(B)
R01	R02	R03	R04	事業内容評価		74%					25%
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率								
100%	99%	98%		総合評価(A)+(B)		99%	B				
R01	R02	R03	R04	事業内容評価							
事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価	事業内容評価								
100%	100%	100%									

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
9	1-3 水と親しめる葛川の再生	②下水道の普及促進	下水道への早期接続を図るため、排水設備設置に係る水洗化改造等奨励金支給、水洗化融資あっせん利子補給、下水道や汚水処理に関する情報発信による啓発を実施する。	都市部 下水道課	・水洗化奨励金支給や融資あっせん利子補給を実施する。 ・未接続世帯へ接続案内の戸別配布などによる動員を実施する。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下水道接続PRをする予定であったイベント等は中止になってしまったが、広報紙等による啓発を行う。 ※水洗化率=接続済人口/処理区域内人口	・水洗化奨励金は87件（1,959千円）、融資あっせん利子補給は6人（約10千円）であった。 ・新規供用区域のほか、既区域の未接続家屋へ接続案内を配布した。（戸別136件） ・広報紙に接続啓発記事を掲載した。 ・令和3年度の水洗化率は、 $21,050 \div 25,280 \approx 83.3\%$ であった。	・水洗化率
10	1-3 水と親しめる葛川の再生	③家畜環境整備対策事業	衛生的な家畜の飼養環境整備を図るため、家畜用浄化槽の整備、修繕に対する補助を行うとともに衛生管理等の薬品を配布する。	都市部 産業振興課	・畜産会との連携により、浄化槽消毒薬品配布及び環境整備指導を実施し、畜産経営における周辺環境へ配慮する意識を高める。	・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努めた。	・環境整備指導件数 ※農家が1件なくなったため、R02から目標値を3件に変更
11	1-3 水と親しめる葛川の再生	④葛川水質調査の実施	家庭・事業所等の排水による河川の水質実態を把握するため、町内河川の水質を調査するとともに水質汚濁を未然に防止するため、さまざまな広報媒体を通じて調査結果を情報提供する。	都市部 生活環境課	・水質測定を実施する。 ・水質測定結果をホームページで公表する。	・水質測定（6地点×年4回）を実施した結果、全24検体すべてが環境基準を満たした。 ・水質測定結果をホームページで公表し、河川の水質状況を町民へ周知した。 ※実績値根拠： $100\% = 24検体 \div 24検体$ ・公共下水道の整備による水質改善効果について、ホームページで公表した。 ・公共下水道新規共用区域のほか、既区域の未接続家屋へ接続案内を配布するとともに、広報紙に接続啓発記事を掲載した。	・測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合
12	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑤葛川美化推進事業	葛川にごみを捨てにくい環境づくりをめざすため、ボランティア団体や県等と連携し、ごみの回収や水生生物の生息確認等を実施するとともに、清掃を行っている団体の活動や葛川の魅力発信を行う。	都市部 生活環境課	・葛川の水生生物を調査する。	・葛川の水生生物の生息調査が実施された。（葛川をきれいにする会で実施） ・全国水生生物調査の指標生物のうち、水質階級Ⅰにあたる生物を6種類確認した。	・水質階級Ⅰにあたる指標生物種類数

評価					課題		対応		R04事業計画									
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> ・指標となる接続率は、短期での大幅な伸びは難しいため、継続した啓発活動が必要である。 ・供用から年数が経っている地区の未接続家屋等へ、接続を勧奨する必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙へ啓発記事を掲載する。 ・新規供用開始区域は接続が減少傾向にあるため、早期の接続を目標とする。 ・供用から年数が経過している区域全体の未接続家屋に対しても、継続して接続を勧奨する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水洗化奨励金支給や融資あっせん利子補給を実施する。 ・未接続世帯へ接続案内の戸別配布などによる勧奨を実施する。 ・ふるさとまつりに、(公財)県下水道公社と合同で、下水道接続PRブースを出展予定である。 ・広報紙へ啓発記事を掲載する。 ※水洗化率=接続済人口/処理区域内人口 							
R01 目標値 77%	R02 目標値 78%	R03 目標値 79%	R04 目標値 80%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25													
R01 実績値 79%	R02 実績値 81%	R03 実績値 83%	R04 実績値	×	×													
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%													
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)													
事業内容評価				75%	25%													
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)														
100%	100%	100%		100%	A													
達成状況評価					評価割合(100)								<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等により機能不全が見られる設備については、早急に修繕する必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「畜産環境整備巡回指導会(畜産会主催)」により、専門知識者による巡回審査等を適切に行うことで、設備の状況を把握するとともに、設備更新に活用できる町の「畜産環境整備対策事業補助金」の予算確保に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努める。 	
R01 目標値 4件	R02 目標値 3件	R03 目標値 3件	R04 目標値 3件	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75													
R01 実績値 3件	R02 実績値 3件	R03 実績値 3件	R04 実績値	×	×													
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%													
75%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)													
事業内容評価				25%	75%													
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)														
100%	100%	100%		100%	A													
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道への接続勧奨や合併処理浄化槽への設置補助を行い、排水が適正に処理されるよう努めていく必要がある。 ・合併処理浄化槽への設置補助について、転換分の申請件数が少ないため、転換を促進する効果的な啓発が必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・河川水質調査を継続して実施することにより、河川の水質状況を把握するとともに、公共下水道への接続勧奨や合併処理浄化槽への設置補助を行い、排水が適正に処理されるよう努める。 ・合併処理浄化槽への設置補助について、転換分の申請件数が増えるよう、宅内配管工事費についても新たに補助対象とする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水質測定を実施する。 ・水質測定結果をホームページで公表する。 ・公共下水道への接続勧奨を効果的に行っていくため、関係各課と連携し、公共下水道の整備による河川水質の改善効果について啓発を行う。また、水質が悪化してしまう原因などについても併せて周知する。 							
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25													
R01 実績値 89%	R02 実績値 96%	R03 実績値 100%	R04 実績値	×	×													
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 80%													
89%	96%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)													
事業内容評価				75%	20%													
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)														
80%	80%	80%		95%	B													
達成状況評価					評価割合(100)								<ul style="list-style-type: none"> ・道端などにポイ捨てされたごみは、まちの景観を損ねるだけでなく、雨風によって、河川に流れ込んでしまうため、河川水質に悪影響を与え、水生生物が生息しづらい環境を作り出す一因になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行うとともに、ポイ捨て防止に関する啓発を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・葛川の水生生物を調査する。(葛川をきれいにする会で実施) ・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行う。 ・葛川をきれいにする会の活動について、広報紙やホームページで広く啓発するとともに、環境団体と連携して、葛川に親しめるイベントを開催する。 	
R01 目標値 3種以上	R02 目標値 3種以上	R03 目標値 3種以上	R04 目標値 3種以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50													
R01 実績値 4種	R02 実績値 3種	R03 実績値 6種	R04 実績値	×	×													
事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%													
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)													
事業内容評価				50%	50%													
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)														
80%	100%	100%		100%	A													

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
13	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑥水資源に関する教育	水資源への関心を高めるため、水資源についての教育を学校等の学びの場で行う。	教育委員会 教育総務課	・水資源への関心を高めるため、水資源についての教育をダムの見学（遠足）や学習の場で行う。	・ダムの見学は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により中止されたが、日常生活において学校や家などで飲んだり使用している水が「どこから来て、どこへ行くのか」という水の循環の仕組みを学んだ。	・実施予定回数に対する環境教育実施回数割合
14	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	①海岸保全対策事業	海岸の保全を図るため、漁港区域内外において養浜工事を実施する。	都市部産業振興課 ・都市部都市整備課	・県と沿岸市町共同で国に対して砂浜の早期回復等の要望を実施する。 ・漁港区域の養浜工事を実施する。	・漁港区域内の養浜工事を実施した。	・要望回数 ・実養浜量/計画養浜量
15	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	②海岸清掃(かながわ海岸美化財団)の実施	海岸の保全を図るため、公益財団法人かながわ海岸美化財団の活動と連携し、海岸清掃によりごみを回収する。	都市部生活環境課	・海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図る。 ・県及び沿岸13市町と連携し、国補助金確保のための要望活動を行う。	・海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図った。 ・県及び沿岸13市町と連携し、国補助金の確保のため、要望活動を行った。 ・美化財団による海岸清掃が72回行われ、15tの海岸ごみが回収された。	・美化財団海岸ごみ回収量
16	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	③釣り客、地引網等のごみの持ち帰りのマナー向上	海岸の保全を図るため、漁港区域の管理において、海岸利用客へ啓発看板を設置するとともに、誘発防止のため海岸来場者数が増加する時期に担当課職員による海岸清掃を行う。	都市部産業振興課	・美化意識の高揚を図るため、漁港区域の管理において、海岸利用客へ啓発看板を設置する。	・漁港区域内に海岸利用者への啓発看板を設置するとともに、漁港区域の見回りに際し、海岸利用者への啓発を行ったほか、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入口フェンスの閉鎖と併せ、周辺に看板を設置した。	・清掃回数

評価					課題		対応		R04事業計画	
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ダムについては、水を貯める働きをする一方で、(緊急)放流することによって起こりうる危険についても、防災教育の観点から学習できるよう取り組んでいく。</p> <p>・身近な水資源について、今後も学習に取り入れていく。</p>		<p>・水資源への関心を高めるため、水資源についての教育をダムの見学(遠足)や学習の場で行う。</p>	
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 100%	R02 実績値 80%	R03 実績値 90%	R04 実績値 実績値	×	×					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率	事業内容 達成率					
100%	80%	90%		90%	100%					
事業内容評価					達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	45%	50%					
100%	100%	100%		総合評価(A)+(B) コロナの影響あり						
100%	100%	100%		95%	-					
達成状況評価					評価割合(100)					
R01 目標値 1回 100%	R02 目標値 1回 100%	R03 目標値 1回 100%	R04 目標値 1回 100%	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 1回 100%	R02 実績値 1回 100%	R03 実績値 1回 100%	R04 実績値 実績値	×	×					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率	事業内容 達成率					
100%	100%	100%		100%	100%					
事業内容評価					達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	25%	75%					
100%	100%	100%		総合評価(A)+(B)						
100%	100%	100%		100%	A					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ボランティア団体により、定期的に河川清掃活動が実施されており、町も清掃時にごみの回収作業を支援する等、ごみが海に流れ込むことを阻止するための水際対策を行う。</p> <p>・海岸美化を推進するため、かながわ海岸美化財団に負担金を支出し、定期的に海岸清掃を実施する。</p>		<p>・海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図る。</p> <p>・県及び沿岸13市町と連携し、国補助金確保のための要望活動を行う。</p>	
R01 目標値 22t	R02 目標値 22t	R03 目標値 22t	R04 目標値 22t	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50					
R01 実績値 9t	R02 実績値 13t	R03 実績値 15t	R04 実績値 実績値	×	×					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率	事業内容 達成率					
100%	100%	100%		100%	80%					
事業内容評価					達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	50%	40%					
80%	80%	80%		総合評価(A)+(B)						
80%	80%	80%		90%	B					
達成状況評価					評価割合(100)					
R01 目標値 10回	R02 目標値 10回	R03 目標値 10回	R04 目標値 10回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75					
R01 実績値 10回	R02 実績値 11回	R03 実績値 13回	R04 実績値 実績値	×	×					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率	事業内容 達成率					
100%	100%	100%		100%	100%					
事業内容評価					達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	25%	75%					
100%	100%	100%		総合評価(A)+(B)						
100%	100%	100%		100%	A					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
17	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	④湘南にのみや海岸530キャンペーンの実施	海岸の保全の気運を高めるため、町民、ボランティア団体、各地区等の協力を得て、二宮海岸の一斉清掃を行う。	都市部生活環境課	・新たな実施方法等を検討するとともに、町民、各関係団体と連携・協力してキャンペーンを実施することで、海岸保全を推進する。	・令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止した。	・海岸530キャンペーン参加者
18	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑤松の保全事業	松を保全することにより、海岸の景観を保全するため、松くい虫被害予防のための薬剤を注入し、被害木を伐倒する。	都市部産業振興課	・松枯れ防止薬剤の注入及び松くい虫被害木の伐倒により、海岸周辺の松の保全に努める。	・松枯れ防止薬剤の注入を実施したほか、枯損樹木の伐倒を行い、松くい虫による被害の拡大を防いだ。	・薬剤注入本数（アンプル数）
19	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑥梅沢海岸観光事業	海岸の魅力向上するため、観光トイレの維持管理を行うとともに、地引網などを通じて町内外問わず多くの人に梅沢海岸の良さを知ってもらえるようPRを行う。	都市部産業振興課	・海岸の魅力向上を図るために引き続き、トイレ維持管理を実施する。また、観光資源の一つである地引網についても、協会と連携して魅力を発信する。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、梅沢海岸のフェンスを閉鎖していたため、観光客の来場数、地引網の実施数ともに前年度と同様に激減している。	・夏季における梅沢海岸来場者数
20	1-5 良好な自然を象徴する動植物の保全	①自然環境を知るための講座の実施	自然環境への関心を高めるため、二宮の動植物について学び、自然と親しむ講座などを開催する。	教育委員会生涯学習課	・自然環境に関する講座を1講座開催する。	・5月21日、22日に第8回バラ展を開催した。町内に咲くバラの展示を行い、町民が自然に触れ合う機会を提供できた。	・講座数 ・参加人数

評価					課題		対応		R04事業計画					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・キャンペーンの参加者数は年々増加傾向にあるが、実施内容がマンネリ化、パターン化してしまっている。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人が密集しないよう、開催方法を検討する必要がある。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、多くの方に参加してもらえるよう、新たな実施方法等を検討し、より良いキャンペーンを開催する。</p>		<p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、キャンペーンの開催を検討する。</p> <p>・プラスチックごみを分別し、回収量を公表することにより、プラスチックごみの適正処理やポイ捨て防止について、意識啓発を行う。</p> <p>・今後も、新たな実施方法等を検討するため、キャンペーン以外にも、町民、各関係団体と連携、協力して実施できる取組がないか検討していく。</p>					
R01 目標値 570人以上	R02 目標値 570人以上	R03 目標値 570人以上	R04 目標値 570人以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50									
R01 実績値 556人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	100%									
98%	0%	0%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)									
事業内容評価					0%	50%								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり										
80%	80%	100%		50%	-									
達成状況評価					評価割合(100)						<p>・地区保全森林には、民有地も含まれるが、日頃の維持管理や台風時の倒木の危険性等から、自主的な保全に理解を得る必要がある。</p> <p>・松枯れ防止薬剤による防除を図りつつ、枯損樹木の除去については、近隣市町の対応状況も加味し、優先順位を定め適切な保全に努める。</p> <p>・松枯れ防止薬剤の注入及び幅広い虫被害木の伐倒により、海岸周辺の松の保全に努める。</p>		<p>・引き続きトイレの維持管理を実施し海岸の魅力向上を図りつつ、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、海岸フェンス閉鎖等の対応をしていく。</p>	
R01 目標値 330アンフル	R02 目標値 330アンフル	R03 目標値 330アンフル	R04 目標値 330アンフル	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50									
R01 実績値 330アンフル	R02 実績値 330アンフル	R03 実績値 112アンフル	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	34%	100%									
100%	100%	34%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)									
事業内容評価					17%	50%								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)										
100%	100%	100%		67%	C									
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・海岸利用者の多くが駐車に利用しているスペースは、漁港区域内の公共空地となっていて、駐車場ではないことから、自然環境への配慮の観点からも自家用車によらない来場が求められる。</p> <p>・自家用車によらない来場の促進方法を検討する。</p>		<p>・引き続きトイレの維持管理を実施し海岸の魅力向上を図りつつ、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、海岸フェンス閉鎖等の対応をしていく。</p>					
R01 目標値 1,700人	R02 目標値 1,700人	R03 目標値 1,700人	R04 目標値 1,700人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50									
R01 実績値 7,439人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	100%									
100%	0%	0%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)									
事業内容評価					0%	50%								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり										
100%	100%	100%		50%	-									
達成状況評価					評価割合(100)						<p>・自然環境をテーマとした講座は集客力が弱い傾向にある。</p> <p>・町民にとって魅力のある自然講座を企画する。</p> <p>・講座を1講座実施する予定である。</p>		<p>・町民にとって魅力のある自然講座を企画する。</p> <p>・講座を1講座実施する予定である。</p>	
R01 目標値 3講座 40人	R02 目標値 3講座 40人	R03 目標値 3講座 40人	R04 目標値 3講座 40人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50									
R01 実績値 1講座 10人	R02 実績値 0講座 0人	R03 実績値 1講座 0人	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	17%	80%									
29%	0%	17%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)									
事業内容評価					8%	40%								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり										
80%	0%	80%		48%	-									

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
21	1-5 良好な自然を象徴する動植物の保全	②有害鳥獣被害対策事業	人と自然が共生するまちづくりをめざすため、有害鳥獣の捕獲許可等、適正な管理を行うとともに、県、近隣市町村、農業者等と連携し、農業被害、生活被害を防止し、生態系を保持する。	都市部生活環境課 ・ 都市部産業振興課	・ 鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付する。 ・ 必要に応じて有害鳥獣捕獲罫及び檻の貸出しを行う。 ・ 有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行う。	・ 鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付した。 ・ 大型檻を新たに購入し、檻の貸出し及び捕獲物の処理体制を整備した。 ・ 有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行った。	・ 有害鳥獣による農業被害件数 ・ 有害鳥獣による生活被害件数
22	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	①ごみ減量化推進事業	ごみの発生を抑制するため、環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通じて、リデュース(将来ごみとなるようなものを無駄に買わないこと)に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・ エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「ふるさとまつり」は中止となったものの、環境イベント「エコフェスタにのみや」での啓発は実施することができた。また、小中学校向けの夏・冬休みの課題配付、保育園・中学校へ環境出前授業を行った。 ・ ホームページ（環境関連のページ）の新設・更新を随時行うとともに、広報紙についても環境の特集ページ（未来づくりガイド）を毎月連載するなど、啓発を充実させた。 ・ 生ごみ処理機の利用、食品ロス削減や適正分別などによるごみの排出抑制等に関する啓発を広報紙8回、ホームページ22回、SNS5回のほか、チラシ(転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布)1回、改訂ごみガイドブック（分別索引品目の拡大）1回の計42回行った。	・ 啓発回数
23	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	②マイバック・マイボトル等の利用促進	ごみの発生を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、「かながわプラごみゼロ宣言」でも謳われているマイバック・マイボトルの利用促進や二宮町商店連合協同組合と連携したレジ袋の削減等に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・ 3R推進月間にホームページ等で啓発を行う。	・ 3R推進月間（10月）は、レジ袋等のワンウェイプラ削減に関連した啓発を広報紙1回、ホームページ1回、SNS1回の計3回行った。 ・ 3R推進月間（10月）以外では、小中学生を対象に、「マイバック・マイボトル」をチャレンジ項目のひとつに組み入れた啓発物を冬休み期間中の課題として配付するとともに、中学校へ環境出前授業を行った。また、レジ袋等のワンウェイプラ削減に関する啓発を環境イベント「エコフェスタにのみや」で1回、広報紙1回、ホームページ9回、SNS1回、チラシ（転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布）1回の計18回行った。	・ 啓発回数
24	2-1 リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	③水分もうひとしぼり運動	ごみの排出を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、生ごみの水分もうひとしぼりの実施に関する普及啓発を行うことで、可燃ごみに含まれる水分量を減らす。	都市部生活環境課	・ エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。 ・ 地域環境推進員を通して水切りの重要性を伝え、地域にお知らせしていく。 ・ 広報紙等で水分もうひとしぼりの啓発を行う。 ・ 「水分もうひとしぼり・濡らさない、乾かす」に関する啓発を	・ ごみの組成分析調査を実施した結果、湿ベースで可燃ごみ中に含まれる水分は約61%（60.9%）であった。 ・ 水分もうひとしぼり運動に関する啓発を広報紙4回、ホームページ2回、SNS1回、チラシ（転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布）1回の計8回行った。また、町ホームページ（環境関連のページ）の新設・更新を随時行ったとともに、広報紙についても例年より掲載紙面の拡大や特集ページの掲載回数を増やすなど、啓発を充実させた。	・ 回収可燃ごみ量内の水分割合(水分率)

評価					課題		対応	R04事業計画				
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・近年増加傾向にあるイノシシの生活被害が、農地での捕獲実績と呼応して増加傾向にある。</p> <p>・人馴れした同一個体と思われるイノシシが、市街地に頻繁に出没したことで、過去に経験のない事態が発生し、生活被害件数(相談件数)が62件と過去最大となった。</p> <p>・イノシシの出没範囲が山林に面した市街地にだけでなく、市街地の中心部にも及んできているため、イノシシに遭遇した際の対処法について、町民に広く周知していく必要がある。</p>	<p>・町、農業者、地域住民が一体となってイノシシ被害対策を講じられるよう、情報提供に努める。</p> <p>・庁内連絡会において、他課と連携を図りながら、効率的、効果的な対策を講じる。</p> <p>・イノシシに遭遇した際の対処法などをホームページや広報紙などで周知していく。</p>	<p>・鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付する。</p> <p>・必要に応じて有害鳥獣捕獲罠及び檻の貸出しを行う。</p> <p>・有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行う。</p> <p>・イノシシなどが市街地に出没した際に備え、迅速に対処できるよう関係機関と調整を図り、体制を整備する。</p>			
R01 目標値 10件以下 5件以下	R02 目標値 10件以下 5件以下	R03 目標値 10件以下 5件以下	R04 目標値 10件以下 5件以下	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 59件 17件	R02 実績値 19件 29件	R03 実績値 9件 62件	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 54%	事業内容 達成率 100%							
23%	35%	54%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				27%	50%							
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
100%	100%	100%		77%	B							
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取り組めるごみ減量化策について、引き続き、イベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。</p> <p>・ごみ排出量の削減に向け、多くの町民に「自分事」として行動してもらえよう、まずは誰でも簡単に取り組むことができるごみ減量化策を様々な機会を通じて効率的に啓発を行う必要がある。</p> <p>・事業者協力のもと、食品ロスの削減を図る必要がある。</p>	<p>・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図った。今後も引き続き、発信する内容の更新を行う。</p> <p>・町民等にとって身近な(取り組みやすい)ごみ減量化策を公募し、啓発材料として活用する。</p> <p>・ごみガイドブックを改訂し、分別索引品の拡大版を掲載する。</p> <p>・子ども食堂のお弁当に、食品ロス削減の啓発を行う。</p> <p>・今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によるが、引き続き、広報紙やホームページ、イベント等を通じて、誰でも簡単に取り組むことができるようなごみ減量化策の啓発に努める。</p>	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。</p>
R01 目標値 4回以上	R02 目標値 4回以上	R03 目標値 4回以上	R04 目標値 4回以上	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75							
R01 実績値 8回	R02 実績値 40回	R03 実績値 42回	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				25%	75%							
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
80%	100%	100%		100%	A							
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・マイバッグやマイカゴについては当たり前前の行動として浸透していることが伺えるものの、マイボトルについては、マイバッグほどの浸透が伺えない。</p>	<p>・ペットボトルtoペットボトルといった技術革新も進んできていることから、リデュースのみならず、3Rの視点で継続的に啓発を進める。</p> <p>・町内に点在する公共施設や学校内に、ペットボトルの使用削減を目的とした給水スポットの設置を検討する。</p>	<p>・3R推進月間(10月)を重点期間とし、通年で、広報紙やホームページ等を活用した積極的な啓発を行う。</p>			
R01 目標値 2回以上	R02 目標値 2回以上	R03 目標値 2回以上	R04 目標値 2回以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 2回	R02 実績値 10回	R03 実績値 18回	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				50%	50%							
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
80%	100%	100%		100%	A							
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取り組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。</p>	<p>・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図るとともに、カテゴリ分けをする等、従来の形式を刷新し、抜本的な見直しを行ったため、今後も引き続き、新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。</p> <p>・町民等にとって身近な(取り組みやすい)ごみ減量化策を公募し、啓発材料として活用する。</p> <p>・今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によるが、引き続き、広報紙やホームページ、イベント等を通じて、誰でも簡単に取り組むことができるよ</p>	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。</p>
R01 目標値 50%	R02 目標値 50%	R03 目標値 50%	R04 目標値 50%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 60%	R02 実績値 59.9%	R03 実績値 60.9%	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 78%	事業内容 達成率 100%							
80%	80%	78%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				59%	25%							

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
					「 <small>はくし</small> 」に関する目録を 新聞、ホームページで行う。		

評価						課題	対応	R04事業計画
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)			誰でも簡単に取り組むことができるようなごみ減量化策の啓発に努める。	
80%	100%	100%		84%	B			

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
25	2-1 リ デュ ースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	④食べ 残しゼ ロ運動 の推進	ごみの排出を抑制するた め、イベントやさまざまな 広報媒体を通じて、3010 運動(宴会時の食べ切り)等 の実施に関する普及啓発を 行う。	都市部 生活環 境課	・エコフェスタにのみや及びふる さとまつりが新型コロナウイルス 感染拡大防止により中止となっ たため、今後の状況を鑑みなが らホームページや広報紙等で啓発を 行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、 「ふるさとまつり」は中止となったもの の、「エコフェスタにのみや」での啓発は 実施することができた。また、小中学校向 けの夏・冬休みの課題配付、保育園へ環 境出前授業を行った。 ・ホームページ（環境関連のページ）の新 設・更新を随時行うとともに、広報紙につ いても環境の特集ページ（未来づくりガイ ド）を毎月連載するなど、啓発を充実させ た。 ・食べ残しゼロ運動に関する啓発を町内事 業者（スーパー）連携により1回、子ども 食堂1回、広報紙2回、ホームページ7 回、SNS2回の計17回行った。	・啓発回数
26	2-1 リ デュ ースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	⑤ごみ 減量化 推進協 議会に よる減 量化の 推進	さらなるごみの減量化方策 を研究するため、ごみ減量 化推進協議会を開催する。	都市部 生活環 境課	・ごみ減量化研究会を開催する。 ・生ごみのリサイクルチェーン、 水分もうひとしぼり運動等の水分 率削減等のごみ減量化施策につ いて検討を行う。	・本研究会と地域環境推進員の活動機 能が重複していることを踏まえ、本研 究会の目的に対する達成状況等を鑑み て、令和3年度をもって閉会すること とした。そのため、年2回の会議を開 催することなく、1回のみ開催と なった。	・協議会開催回数
27	2-2 リ ユース やリサ イクル の促進	①リ ユース ショッ プの利 用促進	リユースを促進するため、 イベントやさまざまな広報 媒体を通じて、リユース ショップの利用や中古品の 再利用に関する普及啓発を 行う。	都市部 生活環 境課	・エコフェスタにのみや及びふる さとまつりが新型コロナウイルス 感染拡大防止により中止となっ たため、今後の状況を鑑みなが らホームページや広報紙等で啓発を 行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴 い、「ふるさとまつり」は中止とな ったものの、「エコフェスタにのみや」 での啓発は実施することができた。ま た、小中学校向けの夏・冬休みの課題 配付、保育園・中学校へ環境出前授業 を行った。 ・3Rに関する啓発を広報紙2回、ホ ームページ15回、SNS2回のほか、チ ラシ(転入者向けにごみ排出抑制のチ ラシを窓口配布)1回、改訂ごみガイ ドブック(分別索引品目の拡大)1回 の計26回行った。	・リユースを促進するための啓発回 数
28	2-2 リ ユース やリサ イクル の促進	②グ リー ン購 入の 推進	リユースやリサイクルを促 進するため、「国等による 環境物品等の調達等の推進等 に関する法律」に基づき、 環境への負担の少ない環境 物品の調達を推進する。	都市部 生活環 境課	・環境物品等の調達の推進を図る ための方針を作成し啓発する。 ・小学生、中学生向けチラシ「エ コライフチャレンジ」において啓 発する。	・令和3年度版の、二宮町環境物品等 の調達の推進を図るための方針（グ リーン購入の促進を図るための方針） を作成し、ホームページと役場内の インフォメーションに掲載した。	・グリーン購入に関する啓発の回数

評価					課題		対応		R04事業計画			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。</p> <p>・事業者協力のもと、食品ロスの削減を図る必要がある。</p>		<p>・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図るとともに、カテゴリ分けをする等、従来の形式を刷新し、抜本的な見直しを行ったため、今後も引き続き、新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。</p> <p>・事業者協力のもと、消費者である町民向けに食品ロス削減に関わる啓発を行うことを検討する。</p>		<p>・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。</p>	
R01 目標値 4回以上	R02 目標値 4回以上	R03 目標値 4回以上	R04 目標値 4回以上	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75							
R01 実績値 3回	R02 実績値 10回	R03 実績値 17回	R04 実績値	×	×							
				事業 達成率	事業内容 達成率							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%							
75%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				25%	75%							
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
80%	100%	100%		100%	A							
達成状況評価					評価割合(100)							
R01 目標値 2回	R02 目標値 2回	R03 目標値 2回	R04 目標値 2回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75							
R01 実績値 1回	R02 実績値 0回	R03 実績値 1回	R04 実績値	×	×							
				事業 達成率	事業内容 達成率							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	50%	100%							
50%	0%	50%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				13%	75%							
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり								
100%	80%	100%		88%	-							
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・リユースショップの活用については、新型コロナウイルスの感染拡大も懸念されることから、積極的な周知に向けては慎重な判断が必要である。</p>		<p>・3Rの積極的な啓発は推進していくものの、リユースショップについては、新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、リユースショップの利用に向けた積極的な啓発を行う。</p> <p>・社会福祉協議会などにおいて、リユースバザーなどの事業が展開され始めたことから、連携しながら、より広範囲での啓発に努める。</p>		<p>・3Rの積極的な啓発を行いつつ、新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、リユースショップの利用に向けた積極的な啓発を行う。</p>	
R01 目標値 4回	R02 目標値 4回	R03 目標値 4回	R04 目標値 4回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 26回	R04 実績値	×	×							
				事業 達成率	事業内容 達成率							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%							
50%	25%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				50%	50%							
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
80%	100%	100%		100%	A							
達成状況評価					評価割合(100)							
R01 目標値 3回	R02 目標値 3回	R03 目標値 3回	R04 目標値 3回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75							
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 2回	R04 実績値	×	×							
				事業 達成率	事業内容 達成率							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	67%	80%							
67%	33%	67%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価				17%	60%							
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
100%	60%	80%		77%	B							

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
29	2-2 リ ユース やリサ イクル の促進	③生ご み処理 機の導 入促進	リサイクルを促進するた め、イベントやさまざまな 広報媒体を通じて、生ごみ 処理機による堆肥の再生利 用に関する普及啓発を行う とともに、生ごみ処理機購 入費用の一部補助による導 入促進を図る。	都市部 生活環 境課	・通年で生ごみ処理機の購入補助 を行う。 ・令和3年度から電動型の購入補助 が終了することを告知する。 ・庁舎入口付近へのキエーロの展 示を継続するとともに、東大果樹 園跡地での展示に向けた関係機関 との調整を行う。 ・ふれあい農園事業との事業間連 携をする。	・通年で生ごみ処理機の購入補助を 行った。 ・生ごみ処理機の案内チラシの刷新、 広報紙「未来づくりガイド」におけ る啓発を行った。 ・キエーロを促進するため、使用方法 等を紹介した動画を作成し、ホーム ページ上で配信した。	・生ごみ処理機導入補助件数
30	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	①二宮 町一般 廃棄物 処理基 本計画 の推進	町民の快適な生活環境づく りに寄与するため、「廃棄 物の処理及び清掃に関する 法律」に基づき、一般廃棄 物処理基本計画を推進す る。	都市部 生活環 境課	・本計画に基づき、ごみ減量化施 策を実施する。 ①1人1日当たりのごみ総排出量目 標値以下 ②目標値の資源化率以上 ③目標値の埋立率以下 ※一般廃棄物処理基本計画を令和3 年度に改訂する。	・令和3年度は、以下3つの計画目標の うち1つ(資源化率)を達成した。 ①1人1日当たりのごみ総排出量 821 (820.8) g 未達 ②資源化率 34.15% 達成 ③埋立率 1.1% 未達	・一般廃棄物処理基本計画における 減量化の目標達成までの進捗率 ・一般廃棄物処理基本計画における 資源化の目標達成までの進捗率 一般廃棄物処理基本計画における最 終処分量の目標達成までの進捗率
31	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	②ごみ 置場散 乱防止 対策 (カラ スネット 配布)	カラス等によるごみ散乱を 防止するため、カラス対策 の方法等を周知するととも に、カラスネットを配布す る。	都市部 生活環 境課	・カラスネット更新申請時に防除 の確認を行う。	・カラスの被害対策として、ファス ナー付きカラスネットの配布を行っ た。 ・利用者のニーズに合わせて、2種類 のカラスネットを配布した。 ・今後、カラスネットを選定する際 の参考データとするため、カラスネ ットの更新手続き時に、使用状況の 聞き取りを行い、破損箇所などの確 認をすることで、壊れやすい箇所の 把握を行った。	・カラスネット配布箇所に対するカ ラス被害防除割合
32	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	③し尿 処理事 業	し尿の衛生的処理により生 活環境を保全するため、し 尿処理施設の適正な維持管 理を行う。	都市部 生活環 境課	・令和元年度は、旧施設と新施設 の維持管理経費で対応していたが 令和2年度は、新施設のし尿等下 水道投入施設の計画等に基づき対 応する。 ・し尿処理施設の水質、臭気、ダ イオキシソニ類測定を実施する。	・し尿等下水道投入施設の各機械の整 備点検等は、作成した整備点検計画 等に基づき実施した。 ・し尿等下水道投入施設の水質測定、 臭気指数測定、脱水汚泥分析測定は、 計画表に基づき実施し、測定結果に ついては、環境基準値内となり問題 はなかった。 ・し尿等下水道投入施設の脱水汚泥 処理に関しても、処理量が令和2年 度は175 t、令和3年度は145 tと削 減した。	・し尿処理施設の水質、臭気、ダ イオキシソニ類測定における基準 値適合項目割合

評価					課題		対応		R04事業計画			
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> ・キエーロの普及を促進するため、効果的な啓発方法を検討する必要がある。 ・キエーロの申込手続は二宮町の商工会で行っているが、生活環境課窓口で直接申込の相談に来る方もいるため、町民サービスの低下を招いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境課窓口においても申込手続ができるよう二宮町商工会と調整の上、申込書を作成する。 ・近年流通している消滅型生ごみ処理機キエーロを効果的かつ効率的に周知するため、ホームページで配信しているPR動画の周知、啓発チラシを作成する他、環境イベントにおいて、キエーロ展示を行い、新規購入者獲得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で生ごみ処理機（非電動型）の購入補助を行う。 ・庁舎入口付近へのキエーロの展示を継続するとともに、環境イベントなどにも展示することにより、効果的かつ効率的な啓発方法を検討する。 ・キエーロ購入者にアンケート調査を実施し、使用状況、感想や意見を取りまとめることで、キエーロの更なる普及促進につなげる。 ・ふれあい農園事業との事業間連携をする。 			
R01 目標値 35件	R02 目標値 35件	R03 目標値 35件	R04 目標値 35件	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 24件	R02 実績値 46件	R03 実績値 39件	R04 実績値 39件	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
69%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					50%	50%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
80%	80%	100%		100%	A							
達成状況評価					評価割合(100)					<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う町民等のライフスタイル（町内滞在時間の増加など）の変化もあり、原単位（1人1日あたりのごみ排出量）における計画値と実績値に乖離が生じている。 ・町民及び事業者へごみ減量化等のさらなる意識醸成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画値と実績値に乖離が生じているが、引き続きごみ減量化策等について広報媒体を活用して積極的に啓発する。 ・計画目標の達成に向け、引き続き地域環境推進員と協働するとともに、一般廃棄物処理基本計画に基づく各種施策の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画に基づき、ごみ減量化施策を実施する。 ①1人1日当たりのごみ総排出量目標値以下 ②目標値の資源化率以上 ③目標値の埋立率以下
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 0	R02 実績値 0	R03 実績値 100	R04 実績値 0	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 33%	事業内容 達成率 100%							
0%	33%	33%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					25%	25%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり								
100%	100%	100%		50%	-							
達成状況評価					評価割合(100)		<ul style="list-style-type: none"> ・カラスネットをしっかりと被せない（ごみがはみ出る、ネットに隙間ができる）、しっかりと重しを置かない等といったことが要因だと考えられるが、ネットを掛けても、ごみ置場がカラスに荒らされてしまうといった相談が寄せられる。 ・ファスナー付きカラスネットの利用により、カラスによる被害が減少した、無くなったという声を聞く一方で、利用者のファスナー開閉時の強弱が原因で破損に繋がるといった相談が寄せられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりがカラスネットを正しく利用するなど、基本的な対策を徹底してもらうよう、窓口などで説明していくとともに、被害状況や利用状況に合わせて、ファスナー付きカラスネットの利用を推進していく。 ・近隣自治体ではどのようなカラスネットを利用しているか、新たな商品が市場に出ていないかなど、随時情報収集を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更新申請時に、カラスネットの適切な利用方法について周知、啓発を行う。 ・利用者の希望や利用世帯数などを確認しながら、状況に合った種類のカラスネットを配布していく。 			
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 80%	R02 実績値 80%	R03 実績値 80%	R04 実績値 80%	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 80%	事業内容 達成率 80%							
80%	80%	80%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					40%	40%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
80%	80%	80%		80%	B							
達成状況評価					評価割合(100)					<ul style="list-style-type: none"> ・し尿等下水道投入施設の主要部分である各機械の整備点検等は、作成した整備点検計画等に基づき実施した。しかし、主要部分以外の各機器の細かい部品交換までは計画に反映されていないため、今後部品交換等が発生した場合は、整備点検計画等に反映し、維持管理する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要部分以外の部品交換等は、通年実施しているため整備点検内で把握し、各年度ごとの整備点検計画に反映し、経費を予算化して対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月よりし尿等下水道投入施設として稼働し、施設稼働に伴う実績も出来たため、予算内の薬品や下水道使用料など、実績量で予算計上し、維持管理する。 ・し尿等下水道投入施設の整備点検計画に基づき維持管理する。 ・し尿等下水道投入施設の水質測定、臭気測定、脱水汚泥分析測定を実施する。 ・脱水汚泥運搬及び処理についても実績量を見ながら実施する。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					75%	25%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
100%	100%	100%		100%	A							

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
33	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	④最終処分場施設運営事業	周辺の生活環境への影響を防ぎ、環境汚染の未然防止に努めるため、埋立てを終了した最終処分場の適正な維持管理を行う。	都市部生活環境課	・最終処分場の水質、臭気、ダイオキシン類測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオキシン類を測定した結果、環境基準値内となり問題はなかった。 ・測定結果については、ホームページで公表した。 ・毎年実施の委託業務及び整備点検は計画どおりに実施し、修繕等については緊急対応した。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオキシン類測定における基準値適合項目割合
34	2-3 ごみの適正な処理・処分の推進	⑤ごみの処理・処分に 関する教育	ごみの適正な処理・処分への関心を高めるため、ごみの出し方や処理についての教育を学校等の学びの場で行う。	教育委員会 教育総務課	・ごみの適正な処理・処分への関心を高めるため、ごみの出し方や処理についての教育を学校や学習の場で行う。	・ごみの適正な処理、処分についての学習を小学校4年生の社会の単元で、各校13回程度行った。	・実施予定回数に対する環境教育実施回数割合
35	2-4 不法投棄防止の推進	①不法投棄防止事業	計画的な大量ごみの山間投棄等、犯罪性の高い不法投棄を未然に防ぐため、県、警察、ボランティア団体と連携し、不法投棄監視及び不法投棄物の撤去を行う。	都市部生活環境課	・不法投棄パトロールを通年で週1回実施する。 ・不法投棄物の撤去により、更なる不法投棄の誘発を防ぐ。 ・葛川をきれいにする会と連携し、河川の保全に努める。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、廃棄物不法投棄監視指導一斉取締りが1回のみ（年4回予定）の実施となったため、目標未達成となった。 ※不法投棄防止パトロール（50回）＋廃棄物不法投棄監視指導一斉取締り（1回） ・投棄物撤去と啓発看板設置により、不法投棄防止を図った。 ・葛川をきれいにする会と連携し、河川清掃ごみを回収した。	・不法投棄パトロール実施回数
36	2-4 不法投棄防止の推進	②ごみのポイ捨て防止事業	ごみの持ち帰りマナー向上やポイ捨てを防止するため、イベント等を通じて、タバコやペットボトル等のポイ捨て防止に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・町内イベントが新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったため、未実施となった。 ・ポイ捨ての被害で困っている方から相談があった場合に、被害箇所へ啓発看板を設置し、ポイ捨て防止のための啓発を行った。	・ごみのポイ捨てを防止するための啓発回数

評価					課題		対応		R04事業計画			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・各機械の整備点検等については、整備点検計画等を作成し、計画等に基づき実施する必要がある。今後は、緊急修繕等が発生することにより、施設管理に影響が出る場合もあるため、計画等が必要である。</p>	<p>・整備点検内で緊急修繕等がないかの把握を行い、各年度ごとの整備点検計画に反映及び経費を予算化し、計画を進めていく。</p>	<p>・最終処分場の水質、臭気、ダイオキシン類の測定を実施する。</p> <p>・測定結果をホームページで公表する。</p> <p>・整備、修繕、工事等の必要な場所は、整備計画等を作成し進めていく。</p>			
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					75%	25%						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
100%	100%	100%		100%	A							
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・「社会科教科書」を教材とした教育を主としており、日常生活に繋がる身近な環境教育が求められる。</p>	<p>・「社会科教科書」を教材とした教育を行うとともに、日常生活に繋がる身近な環境教育を取り入れていく。</p>	<p>・ごみの適正な処理、処分への関心を高めるため、ごみの出し方や処理についての教育を学校や学習の場で行う。</p> <p>・生活環境課が実施している環境出前授業を積極的に活用し、ごみに関することを学ぶ。</p>
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 100%	R02 実績値 80%	R03 実績値 100%	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 80%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
100%	80%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					50%	50%						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
100%	100%	100%		100%	A							
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・不法投棄防止パトロール時における、不法投棄物の回収量は年々減少傾向にあるものの、ごみ置場にごみが放置されたままになっている等の相談が、依然として多く寄せられている。</p>	<p>・不法投棄防止パトロール時に、町内を巡回監視することにより、不法投棄の抑止、未然防止を図るとともに、不法投棄物の早期発見、早期回収により、更なる不法投棄の誘発を防ぐ。</p>	<p>・不法投棄防止パトロールを通年で週1回実施する。</p> <p>・不法投棄防止パトロールの実施により、町内を巡回監視し、不法投棄の抑止を図る。</p> <p>・葛川をきれいにする会が清掃した河川ごみを回収する。</p> <p>・不法投棄防止用の手製の啓発看板を作成し、設置希望者に配布する。</p>			
R01 目標値 52回	R02 目標値 52回	R03 目標値 52回	R04 目標値 52回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 54回	R02 実績値 52回	R03 実績値 51回	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 98%	R04 事業達成率	事業 達成率 98%	事業内容 達成率 100%							
100%	100%	98%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					49%	50%						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり								
100%	100%	100%		99%	-							
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・ポイ捨ては、山間部への大量投棄等と比較して軽微な印象があるためか、罪の意識が軽い傾向にあり、至る所で行われるため、不法投棄箇所を特定して啓発を行うことが困難である。</p>	<p>・ポイ捨てに対する罪の意識を高められるよう、関係機関や団体と連携して啓発活動を実施する。</p>	<p>・エコフェスタにのみや、ふるさとまつり、湘南海岸530キャンペーン及び大型店舗前で子どもたちと協同実施している街頭美化キャンペーンなどの町内イベント時に、啓発物の展示や啓発活動を実施する。</p> <p>・ポイ捨て防止用の手製の啓発看板を作成し、設置希望者に配布する。</p>
R01 目標値 5回	R02 目標値 5回	R03 目標値 5回	R04 目標値 5回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 5回	R02 実績値 2回	R03 実績値 0回	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 40%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率	事業 達成率 0%	事業内容 達成率 100%							
100%	40%	0%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					0%	50%						
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり								
100%	100%	100%		50%	-							

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
37	2-5 地 産地消 の促進	①地元 産品の 消費促 進	地産地消を促進するため、 朝市やイベントを通じて、 地元で採れた農産物や海産 物の購入を促進する。	都市部 産業振 興課	・ふるさとまつりは、新型コロナ ウイルス感染拡大防止により中止 となったが、朝市等のイベントを 通じて引き続き、購入の促進を図 る。	・指標とするふるさとまつりは中止と なり、朝市も新型コロナウイルスの感 染拡大に伴い中止とした月もあつた が、開催された朝市においては活発な 販売が行われた。	・湘南にのみやふるさとまつりの来 場者数
38	2-5 地 産地消 の促進	②地元 産品の 循環型 活用の 促進	地産地消を促進するため、 地元産品を消費して出た生 ごみの堆肥化と、その堆肥 の家庭菜園やふれあい農園 等での活用を推進する。	都市部 生活環 境課	・給食センターに設置している大 型生ごみ処理機の活用事例のPRに よりリサイクルチェーンの形成に 活かす。	・学校給食センターに設置している大 型生ごみ処理機は、故障により稼働し なかった。 ・ふれあい農園利用者に生ごみ処理機 購入費補助制度について周知した。	・大型生ごみ処理機の設置基数
39	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	①地球 温暖化 防止運 動の推 進	温室効果ガスの排出抑制を 推進するため、環境活動団 体等との連携・協力による イベントやさまざまな広報 媒体を通じて、エコドライ ブキャンペーンや再生可能 エネルギー等に関する情報 提供並びに普及啓発を行 う。	都市部 生活環 境課	・エコフェスタにのみや及びふる さとまつりが新型コロナウイルス 感染拡大防止により中止となつた ため、今後の状況を鑑みながら ホームページや広報紙等で啓発を 行う。	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い各 種イベントが中止となつたが、広報紙や ホームページ、Facebook、未来づくり教 室などの環境学習の場を活用し、地球温暖 化防止に向けた啓発を行った。 ・イベントの代替事業として、冬休みに 二宮町内の全小中学校の児童、生徒に、マ イエコ10宣言を実施し、結果をフィード バックした。マイエコ10宣言の結果は、一 色小学校10.5項目、二宮小学校11項目、山 西小学校10.4項目、二宮中学校9.1項目、 二宮西中学校9.4項目の回答が得られた。 ※マイエコ10宣言：環境に関わる16項目 の中で、何項目実施できているか、または 実施できそうかを回答するもの。	・地球温暖化防止に向けた啓発回数 ↓ ※低炭素社会の形成に係る唯一の重 点プランの指標が「啓発回数」で は、基本目標の達成状況を判断しに くいため、ふるさとまつりで実施し ている「マイエコ10宣言」の回収時 に「トライする項目」の他、「実効 している項目」を教えてもらい、 「温暖化防止行動の実行率」に指標 を変更。(マイエコ10宣言で、10 個以上選択した人の中で、5個以上 実践している人の割合)
40	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	②ムダ な電力 消費等 の節約 啓発	節電を促進するため、さま ざまな広報媒体や子ども向 けチラシの学校での配布を 通じて、節電に関する普及 啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・広報紙やホームページでの周 知、町内イベント等で節電につ いての啓発活動を行う。また、町内 小中学生を対象に夏冬休み期間中 の課題を通して環境教育を実施す る。	・省エネルギー月間の周知を広報紙、 ホームページ、Facebookで行つた。 ・役場職員の意識向上を図るため、庁 舎内でクールアースデーを実施し、節 電の啓発を行った。 ・グリーンカーテンの設置や県の0円 ソーラー、太陽光共同購入事業など について、ホームページ等で周知した。 ・未来づくり教室や、町内の小中学校 への夏休み、冬休みの宿題、環境出前 授業を通して、子どもを対象とした啓 発を行った。	・啓発回数

評価					課題		対応		R04事業計画					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ふるさとまつりなどのイベント開催が、新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されている。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるイベントに頼らない地産地消の促進を検討する。</p>		<p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催を予定している。</p> <p>・ふるさとまつりの来場および購入促進を呼びかける。</p>					
R01 目標値 10,000人	R02 目標値 10,000人	R03 目標値 10,000人	R04 目標値 10,000人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50									
R01 実績値 9,000人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率 90%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率	事業 達成率 0%	事業内容 達成率 100%									
事業内容評価					達成状況 評価(A) 0%	事業内容 評価(B) 50%								
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり 50% -										
達成状況評価					評価割合(100)						<p>・当該大型生ごみ処理機は、すでに廃版となっている機種のため、修理も含めどのように維持管理をしていくのか検討する必要がある。</p> <p>・地元産品の消費を促進することにより、町内での循環につながる取組になっているか、また、事業間、地域間で連携を図り、生ごみリサイクルチェーンの形成に取り組んでいるか検討が必要である。</p>		<p>・故障した大型生ごみ処理機の今後の維持管理について検討を行う。</p> <p>・故障した大型生ごみ処理機の今後の維持管理について検討を行う。</p> <p>・ふれあい農園利用者に生ごみ処理機購入補助制度について周知し、堆肥の活用を推進する。</p>	
R01 目標値 1基	R02 目標値 1基	R03 目標値 1基	R04 目標値 1基	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75									
R01 実績値 1基	R02 実績値 1基	R03 実績値 0基	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率	事業 達成率 0%	事業内容 達成率 40%									
事業内容評価					達成状況 評価(A) 0%	事業内容 評価(B) 30%								
R01 事業内容評価 20%	R02 事業内容評価 40%	R03 事業内容評価 40%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) 30% D										
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・本事業は、ふるさとまつりで実施しているマイエコ10宣言の結果を指標としているものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ふるさとまつりが開催できない状況が続いている。</p> <p>・引き続き代替事業である、小中学校でのマイエコ10宣言を中心に、事業に取り組んでいく。</p> <p>・小中学校でのマイエコ10宣言は、環境について考えるきっかけとなるように、毎年実施し、結果もフィードバックしていく。</p>		<p>・ふるさとまつりが開催できなかった場合においても、引き続き代替事業に取り組んでいく。</p> <p>・広報紙やホームページ、Facebookなどでも、地球温暖化防止のための啓発を実施し、町民の意識向上へのきっかけを作っていく。</p>					
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75									
R01 実績値 66%	R02 実績値 0%	R03 実績値	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率 66%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 0%	R04 事業達成率	事業 達成率 0%	事業内容 達成率 100%									
事業内容評価					達成状況 評価(A) 0%	事業内容 評価(B) 75%								
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり 75% -										
達成状況評価					評価割合(100)						<p>・地球温暖化防止行動は、子どもの頃から意識付けていくことが重要となるため、学校での環境教育等に、より一層力を入れていく必要がある。</p> <p>・町内の小中学校への夏休み、冬休みの宿題や、未来づくり教室、環境出前授業などを通して、引き続き学校側と連携を図りながら、節電等についての意識啓発を行っていく。</p> <p>・広報紙や子ども達に配布するプリント等に、ホームページのQRコードを付けるなど、工夫を重ねていく。</p>		<p>・引き続き省エネルギー月間の周知やグリーンカーテンの設置等で啓発を行う。</p> <p>・学校側と連携を図り、町内の小中学校への夏休み、冬休みの宿題や環境出前授業等を通し啓発を行う。</p>	
R01 目標値 3回	R02 目標値 3回	R03 目標値 3回	R04 目標値 3回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50									
R01 実績値 4回	R02 実績値 12回	R03 実績値 20回	R04 実績値	×	×									
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%									
事業内容評価					達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%								
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) 100% A										

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
41	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	③エコ カーの 導入 (電気 自動車 等導入 検討) 事業	職員の公用車利用による環 境への負荷を軽減するた め、「二宮町地球温暖化対 策実行計画(事務事業編)」 に基づき、公用車の買替え 等の際は、低燃費車や電気 自動車等のエコカーを導入 する。	政策総 務部 財務課	・5台の更新車両全てにエコカーを 導入する。	・入札の結果、現在使用している1台の ダイナを再リースし、継続して使用し た。 ・新規リースでPHEVを1台、平成30年 度基準排出ガス規制50%低減レベル認 定車を1台導入した。	・低燃費車や電気自動車等のエコ カー導入台数
42	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	④環境 負荷の 少ない 交通の 利用促 進	環境負荷の少ない交通手段 (公共交通)の利用を促進す るため、「にの♡バス」等 を通じて、啓発を行うとと もに、バス停毎の乗降実績 等を基に「にの♡バス」の 見直しを検討する。	政策総 務部 企画政 策課 ・ 都 市部 都市整 備課	・広報、ホームページによる啓発 をし、利用促進を図る。 ・コミュニティバスの乗降データ 実績、アンケート調査の分析等を 踏まえ、今後に向けて地域と協議 する。 ・対象別のモビリティ・マネジメ ントによる利用促進を図る。	・ザ・ビッグまでの延伸を決定した が、ルート統合は地区の反対で保留と した。 ・新型コロナウイルスの影響で、乗り 方教室(利用促進策)は実施できな かった。 ・令和3年度の実績は、242日運行、 18,054人乗車、1日平均乗車人数75人 となった。	・にの♡バス利用によるCO ₂ 削減量
43	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	⑤駅前 駐輪場 の運営 (利用 者の利 便性向 上)	環境負荷の少ない交通手段 (自転車)の利用を促進す るため、駅周辺に整備した 自転車駐輪場を利用者の利 便性に配慮して運営する。	政策総 務部 防災安 全課	・利用しやすい自転車駐車場の適 正な維持管理とサービス向上によ り、利用者を維持し、環境負荷の 少ない自転車利用の促進を図る。	・自転車駐輪場係員の方と連携して、 利用者が安全に安心して利用できるよ うな環境を作ることで、新型コロナウ イルスにより減少傾向にあった利用者 の回復につなげることができた。	・自転車駐輪場利用延べ台数(自転 車及び原付バイク)
44	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	⑥地球 温暖化 防止に 関する 教育	地球温暖化防止への関心を 高めるため、温暖化対策に ついての教育を学校等と連 携し、学びの場で行う。	都市部 生活環 境課	・町内小中学生の対象レベルに合 わせ、興味を持って環境活動が実 践されるような啓発を行う。	・夏休みに町内の小学生を対象とし た、工作を通して環境について楽しく 学ぶ未来づくり教室を開催した。ま た、6月に二宮保育園、12月に二宮中 学校へ環境出前授業を行った。 ・未来づくり教室や環境出前授業を受 けた子ども達に、オリジナル缶バッジ を配布した。 ・広報紙に町PRキャラクターを用いた 環境に関する四コマ漫画を掲載し、興 味を引くような啓発を行った。	・環境教育の実施回数

評価					課題		対応		R04事業計画			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・導入にあたり新型コロナウイルスの影響による自動車の生産量低下の可能性があり、今後のエコカー導入に影響が及ぶ可能性がある。</p> <p>・軽バン、軽トラなどは、クリーンエネルギー自動車への移行が難しい。</p>	<p>・新車のエコカー調達が困難な場合は、短期の再リースを行う等の対応を検討する。</p>	<p>・平成30年度の排出基準を満たす車両を3台、平成30年度基準排出ガス規制50%低減レベル認定車を2台導入する。</p>			
R01 目標値 4台	R02 目標値 5台	R03 目標値 5台	R04 目標値 14台	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 4台	R02 実績値 7台	R03 実績値 2台	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	40%	100%							
100%	100%	40%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					30%	25%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)								
100%	100%	100%		55%	C							
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・新型コロナウイルスの影響で利用者が大幅に減ったが、若干の回復が見られる。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で、公共交通へ乗り換えてもらう啓発が実施できていない。</p> <p>・ルート改編に地区の同意を得ることが難しい。</p>	<p>・ザ・ビッグまでの延伸と、利用促進策の実施で、一定の利用者の増加が期待できる。</p> <p>・今後のルート改編に向け、地区の同意を得るためのルール作りを研究する。</p>	<p>・10月のルート改編で、ザ・ビッグまで延伸することに伴い、ザ・ビッグを巻き込んだ利用促進策を実施する。</p> <p>・高齢者及び児童・園児を対象とした啓発活動に着手する。</p>
R01 目標値 15,512g	R02 目標値 15,512g	R03 目標値 15,512g	R04 目標値 15,512g	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 11,816g	R02 実績値 9,632g	R03 実績値 11,312g	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	73%	60%							
76%	62%	73%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					36%	30%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり								
80%	60%	60%		66%	-							
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・電動自転車や多種多様な自転車の駐車希望が増えていく中で、自転車駐車をより多くの方に利用していただくため、多種多様な自転車が駐輪できる施設の整備が課題である。</p>	<p>・自転車用のラックを撤去して平置きができるようにすることで、電動自転車や多種多様な自転車が駐輪できるよう対応する。</p>	<p>・電動自転車や多種多様な自転車の駐車が可能となるよう、平置き用駐輪スペースの拡大等を行い、より多くのニーズに対応できるようにすることで、エコな移動手段である自転車の利用を促進していく。</p>			
R01 目標値 92,000台	R02 目標値 92,000台	R03 目標値 92,000台	R04 目標値 92,000台	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 79,080台	R02 実績値 66,200台	R03 実績値 83,768台	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	91%	80%							
86%	72%	91%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					46%	40%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり								
100%	100%	80%		86%	-							
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・町PRキャラクターを用いた環境に関する四コマ漫画の掲載が終了するため、代替えを考える必要がある。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、未来づくり教室などのイベントが中止となる場合がある。</p>	<p>・広報紙には、前月号の内容をクイズとして掲載し、伝えたい内容等を楽しく振り返ることができるよう、工夫を行う。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、アルコール消毒や検温の実施、少人数でのイベント開催などを随時検討していく。</p>	<p>・町内の保育園、幼稚園、小学校、中学校を対象に、環境出前授業を実施する。</p> <p>・未来づくり教室等のイベントを開催し、学校以外でも環境について学ぶ場を設ける。</p> <p>・広報紙に前月号に関するクイズを掲載し、町民へ啓発していく。</p> <p>・引き続き、環境イベント等に参加してくれた子ども達へ、オリジナル缶バッジを配布する。</p>
R01 目標値 2回	R02 目標値 2回	R03 目標値 2回	R04 目標値 2回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 3回	R04 実績値	×	×							
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%							
100%	50%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)							
事業内容評価					50%	50%						
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり								
100%	100%	100%		100%	-							

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
45	3-3 緑 化や雨 水利用 などによる環 境の安全	①建築 物の緑 化の推 進	建物の温度上昇を抑制するため、公共施設などの建物に植物（グリーンカーテン）を設置するとともに、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、町民への普及促進を図る。	都市部 生活環 境課	・町役場庁舎2階入口の2箇所の花壇に複数の樹種によるグリーンカーテンを設置するとともに、ホームページに生育状況を掲載する。	・町役場庁舎2階入口の2箇所の花壇にグリーンカーテンを設置し、昨年同様に、グリーンカーテンのアーチを作り啓発を行った。 ・七夕に合わせてグリーンカーテンのゴーヤに、地球温暖化防止に関わる内容等の短冊を飾り、より人目につくようアレンジを行った。 ・グリーンカーテンの成長記録等を定期的にホームページへ掲載し、啓発を行った。 ・夏休みの子ども食堂のお弁当に、役場で作ったゴーヤを入れて子ども達に提供した。	・緑のカーテン設置箇所数
46	3-3 緑 化や雨 水利用 などによる環 境の安全	②開発 行為等 における緑化 指導 (要 綱、指 導、条 例)	緑地面積を確保するため、「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」及び「二宮町緑の保全及び緑化の推進に関する要綱」に基づき、開発行為完了後の緑化推進を指導する。	都市部 都市整 備課	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、開発事業前協議書の提出者に対して緑化の指導を行う。	・令和3年度の開発申請件数は4件であり、すべての案件について「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、緑化の指導を行った。	・開発協議件数に対する指導件数割合
47	3-3 緑 化や雨 水利用 などによる環 境の安全	③花 いっば い運動 の推進	町内の緑化及び町民の緑化意識の高揚を図るため、町内の公共施設等で花壇やプランター等への花の植栽を行う。	都市部 都市整 備課	・6、11月に花苗を各所に配布し、老人会等地域ボランティアによる植栽を実施する。	・6月10日の実施結果は、植栽箇所数23箇所、マリーゴールド1,471株、ペゴニア1,543株を植えた。 ・11月10日の実施結果は、植栽箇所数23箇所、パンジー1,082株、ヒオラ1,082株を植えた。	・設置予定箇所に対する花の植栽割合
48	3-4 環 境保全 による 安全な まちづ くり	①側溝 や集水 樹の補 修・清 掃（冠 水防 止）	集中豪雨時の冠水防止対策により環境を保全するため、町民等と連携、側溝や集水柵の補修・清掃を行う。	都市部 生活環 境課 都市部 都市整 備課	・堆積の著しい道路側溝は清掃を実施する。また道路冠水の原因の一因であるグレーチングの詰まりは、町作業員にて上部清掃を適宜実施し、道路冠水を防止する。	・業者での側溝清掃(5件)、町作業員による側溝清掃やグレーチング上部の清掃等(88件)を実施した。	・町民等と連携した側溝や集水柵の補修・清掃件数

評価					課題		対応		R04事業計画			
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・多くの方にグリーンカーテンを意識してもらえるよう、啓発を行う必要がある。</p> <p>・ホームページを開いた方が少しでも興味を持っていただけるよう、グリーンカーテンの成長記録を定期的に更新したり、内容も気軽に読めるような文章にして作成する。</p>	<p>・ホームページを開いた方が少しでも興味を持っていただけるよう、グリーンカーテンの成長記録を定期的に更新したり、内容も気軽に読めるような文章にして作成する。</p>	<p>・引き続き町役場庁舎2階入口の2箇所の花壇にグリーンカーテンのアーチを作り、啓発を行う。</p> <p>・グリーンカーテンで作ったゴーヤは、町民センターの「ともしびショップなのはな」で料理をしていただき、地産地消についても同時に啓発していく。</p> <p>・夏休みの子ども食堂のお弁当には、役場で作ったゴーヤを入れて提供してもらえるように調整する。</p>			
R01 目標値 2箇所	R02 目標値 2箇所	R03 目標値 2箇所	R04 目標値 2箇所	達成状況 評価	事業内容 評価	50				50		
R01 実績値 2箇所	R02 実績値 2箇所	R03 実績値 2箇所	R04 実績値	×	×	事業 達成率				事業内容 達成率		
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%	100%				100%		
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	50%				50%		
事業内容評価					50%	50%				総合評価(A)+(B)		
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	100%	100%				A		
100%	100%	100%		総合評価(A)+(B)		100%				A		
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・緑化に関しては、開発協議の際に指導を行ない、完了時確認を行っているが、その後の維持管理は居住者となるため、緑化の維持管理について懸念される。</p>	<p>・公園緑地班と連携を図り、緑地の維持管理について広報紙等により意識向上を図る。</p>	<p>・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、開発事業事前協議書の提出者に対して緑化の指導を行う。</p> <p>・緑化の促進のための整備手法について検討していく。</p>
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価	事業内容 評価	75						
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値	×	×	事業 達成率	事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	60%	100%	60%					
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	75%	15%					
事業内容評価					75%	15%	総合評価(A)+(B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	40%	100%	60%	B					
40%	100%	60%		総合評価(A)+(B)		90%	B					
達成状況評価					評価割合(100)		<p>・ゆめクラブや公園愛護会にご協力いただいているが、高齢化等により作業の実施が困難なケースが発生している。</p>	<p>・ゆめクラブや公園愛護会と作業等について意見交換を行い、今後も無理なく続けていくための方法について検討していく。</p>	<p>・6月、11月に花苗を各所に配布し、ゆめクラブ等地域ボランティアによる植栽を実施する。</p>			
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価	事業内容 評価	75						
R01 実績値 100%	R02 実績値 50%	R03 実績値 100%	R04 実績値	×	×	事業 達成率				事業内容 達成率		
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%	100%				100%		
100%	50%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	75%				25%		
事業内容評価					75%	25%				総合評価(A)+(B)		
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	100%	100%				A		
100%	100%	100%		総合評価(A)+(B)		100%				A		
達成状況評価					評価割合(100)					<p>・町内全ての道路側溝を一齐に清掃することは困難であるため、これまでの対応経過や地区要望などの状況により、施工箇所を検討する必要がある。</p>	<p>・これまでの対応経過、地区要望などの状況や、担当職員の巡回などにより、堆積状況を把握し、適宜対応していく。</p>	<p>・堆積の著しい道路側溝を重点的に清掃しながら、道路冠水の原因の一因であるグレーチングの詰まりについては、町作業員にて上部清掃を適宜実施し、道路冠水を防止する。</p>
R01 目標値 50件	R02 目標値 50件	R03 目標値 50件	R04 目標値 50件	達成状況 評価	事業内容 評価	25						
R01 実績値 43件	R02 実績値 59件	R03 実績値 93件	R04 実績値	×	×	事業 達成率	事業内容 達成率					
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	80%	100%	80%					
86%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)	25%	60%					
事業内容評価					25%	60%	総合評価(A)+(B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	80%	80%	B					
100%	80%	80%		総合評価(A)+(B)		85%	B					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
49	3-4 環 境保 全に よる 安全 なま ちづ くり	②雨水 浸透施 設設置 の指導	町内の自然環境の保全のため、「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、雨水浸透施設（屋根等に降った雨水を宅地内に浸透させる施設）の設置を指導する。	都市部 都市整 備課	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、開発事業事前協議書の提出者に対して排水の指導を行う。	・令和3年度の開発申請件数は4件であり、すべての案件について「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、排水の指導を行った。	・開発協議件数に対する指導件数割合
50	3-4 環 境保 全に よる 安全 なま ちづ くり	③狭あ い道路 等拡幅 整備事 業	町民の日常生活の利便増進及び災害時における安全を図るため、建築基準法第42条第2項等に基づく道路に対し、二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱により、道路を整備する。	都市部 都市整 備課	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施する。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施した。 ・令和3年度工事は12箇所で舗装工事等を実施した。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づく申請に対しての工事実施率
51	3-5 快 適な 生活 環境 の向 上	①地域 美化活 動の推 進	地域美化活動の推進により快適な生活環境の向上を図るため、ごみ袋の配布、保険の加入等美化活動を行う個人・団体への支援を行う。	都市部 生活環 境課	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きの支援を行う。 ・地域美化清掃協議書を提出してもらい、ごみ袋の配布枚数、ごみの処理方法について申請者と協議する。	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きを行った。 ・前年度に比べ、件数、参加人数ともに増加したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、活動を自粛した地域などもあり、目標値を達成することは出来なかった。	・地域美化清掃の件数 ・地域美化清掃の参加人数
52	3-5 快 適な 生活 環境 の向 上	②公害 防止対 策事業	公害の防止により快適な生活環境の向上を図るため、県、事業者等と連携し、町内各所で道路騒音や河川水質(健康項目)を測定するとともに、ホームページを通じて、測定結果を情報提供する。	都市部 生活環 境課	・騒音測定を実施する。 ・河川水質測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。	・騒音測定、河川水質測定を実施し、道路交通の騒音状況や河川の水質状況を把握した。 ・測定結果をホームページで公表し、町民へ周知した。 ・騒音測定については、全8検体（4地点×（昼間・夜間））2検体において、環境基準値を超過した。 ・河川水質測定については、全24検体（6地点×年4回）すべてが環境基準を満たした。	・騒音測定地点数に対する測定値が基準値内の地点数割合 ・河川水質測定値点数に対する測定値が基準値内の地点数割合

評価					課題		対応		R04事業計画			
達成状況評価					評価割合(100)		・雨水の排水について宅地内浸透処理の指導を行っているが、集中豪雨や台風では全て処理されず、道路への流出が懸念される。	・宅地内浸透処理のほか、側溝等の設置により開発地内での雨水流出抑制を指導していくとともに、想定外の降雨に対し、新たな手法や冠水対策を検討していく。	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、雨水浸透施設の設定等、雨水流出抑制に対する手法について検討を行う。			
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	×	×							
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
事業内容評価				達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%							
R01 事業内容評価 40%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%								
達成状況評価					評価割合(100)					・建築確認申請に伴う受動的な事業であり、事業の進捗も相手の都合により変わるため、実施箇所数も年度ごとにバラつきが生じる。	・原則は当該年度で実施していくが、事業内容によっては2箇年度で計画し、提出された申請を適切に処理していく。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施する。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	×	×							
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%							
事業内容評価				達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%							
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	総合評価(A)+(B) 100%								
達成状況評価					評価割合(100)		・地域美化清掃の規模が大きくなり、回数が増えるほど、草葉の回収量も増えていくため、出来る限り枯らし、水分量を減らしてから出してもらうようにしたり、堆肥化してもらえるようお願いする。	・地域美化清掃協議書の提出時に出来る限り、草葉を枯らし、水分量を減らしてから出してもらうようにしたり、堆肥化してもらえるようお願いする。	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きの支援を行う。			
R01 目標値 60件 6,900人	R02 目標値 60件 6,900人	R03 目標値 60件 6,900人	R04 目標値 60件 6,900人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50							
R01 実績値 53件 6,309人	R02 実績値 43件 3,285人	R03 実績値 35件 3,324人	R04 実績値 35件 3,324人	×	×							
R01 事業達成率 90%	R02 事業達成率 60%	R03 事業達成率 74%	R04 事業達成率 74%	事業 達成率 74%	事業内容 達成率 80%							
事業内容評価				達成状況 評価(A) 37%	事業内容 評価(B) 40%							
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 80%	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり 77%								
達成状況評価					評価割合(100)					・道路騒音測定では、1地点で、昼間、夜間とも測定値が環境基準値を上回る結果となり、例年、交通量が多い路線で、環境基準値を超過してしまう地点が出ている。	・道路交通騒音測定、河川水質測定を継続的に実施し、測定結果を注視していくとともに、測定値が環境基準値を超過してしまった場合は、各関係機関と連携を図り、改善に向けた協議を行う。	・騒音測定を実施する。 ・河川水質測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25							
R01 実績値 75%	R02 実績値 100%	R03 実績値 75%	R04 実績値 92%	×	×							
R01 事業達成率 84%	R02 事業達成率 98%	R03 事業達成率 88%	R04 事業達成率 88%	事業 達成率 88%	事業内容 達成率 60%							
事業内容評価				達成状況 評価(A) 66%	事業内容 評価(B) 15%							
R01 事業内容評価 60%	R02 事業内容評価 60%	R03 事業内容評価 60%	R04 事業内容評価 60%	総合評価(A)+(B) 81%								

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R03事業計画	R03事業実績	数値指標
53	3-5 快 適な生 活環境 の向上	③屋外 燃焼行 為によ る被害 の防止	屋外燃焼行為による被害の 防止により快適な生活環境 の向上を図るため、「廃棄 物の処理及び清掃に関する 法律」及び「神奈川県生活 環境の保全等に関する条 例」に基づき、違反者に対 し燃焼行為の中止を指導す る。	都市部 生活環 境課	・廃棄物処理法及び県条例に違反 して屋外燃焼行為を行っている違 反者に指導をおこない燃焼行為を 中止させる。 ・廃棄物処理法及び県条例による 屋外燃焼行為の禁止に関するPRを 行う。	・廃棄物処理法及び県条例に違反して 屋外燃焼行為を行っている違反者に指 導を行い、燃焼行為を中止させた。 ・廃棄物処理法及び県条例による屋外 燃焼行為の禁止に関する周知啓発を広 報紙及びホームページで行った。	・苦情件数に対する焼却行為の中止 件数割合

評価					課題		対応	R04事業計画
達成状況評価				評価割合(100)		<p>・例年、公害苦情件数の中でも、屋外燃焼行為に関する苦情件数の占める割合が、他の公害苦情に比べ、高くなっている。</p> <p>・苦情が入っても、既に屋外燃焼行為が終わってしまった後等、場所が特定できないことがある。</p>	<p>・屋外燃焼行為は法令違反となっているため、原因者に屋外燃焼行為を中止させ、再度行わないよう指導を行い、再発防止に努める。</p> <p>・広報紙等で屋外燃焼行為の禁止に関する周知、啓発を行う。</p>	<p>・廃棄物処理法及び県条例に違反して屋外燃焼行為を行っている違反者に指導を行い、燃焼行為を中止させる。</p> <p>・廃棄物処理法及び県条例による屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を広報紙等で行う。</p>
R01 目標値 100人	R02 目標値 100人	R03 目標値 100人	R04 目標値 100人	達成状況 評価	事業内容 評価			
				50	50			
R01 実績値 100人	R02 実績値 100人	R03 実績値 100人	R04 実績値	×	×			
				事業 達成率	事業内容 達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	60%			
100%	100%	100%		達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)			
事業内容評価				50%	30%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)				
60%	60%	60%		80%	B			